

長野市障害福祉のためのアンケート報告書
＜当事者アンケート＞

平成 22 年 6 月

長野市

目 次

1	調査概要	1
2	調査結果	2
	(1) 回答者本人のことについて	2
	(2) 生活の状況について	4
	(3) 今後の就労について	9
	(4) 現在の活動について	12
	(5) 身の回りのことについて	14
	(6) 今後の生活について	18
	(7) 情報収集について	20
	(8) 相談ごとについて	21
	(9) 外出について	23
	(10) 地域とのかかわりについて	25
	(11) 長野市の施策について	30
	(12) 自由意見	36
3	【参考】平成 12 年実施アンケート結果との比較	41
	(1) 回答者本人のことについて	41
	(2) 生活の状況について	41
	(3) 外出について	42
	(4) 地域とのかかわりについて	42

1 調査概要

(1) 調査の目的

障害のある人の生活の向上をめざした「長野市障害者基本計画」を策定する基礎資料として、当事者の意見を聞くため、アンケート調査を実施した。

(2) 調査実施概要

調査地域： 長野市全域
 調査対象： 障害者手帳所持者 3,500 人（無作為抽出）
 調査方法： 郵送配布・郵送回収
 調査時期： 平成 22 年 4 月 2 日～平成 22 年 4 月 30 日
 調査実施機関： 長野市 障害福祉課

(3) 調査項目

回答者本人のことについて	情報収集について
生活の状況について	相談ごとについて
今後の就労について	外出について
現在の活動について	地域とのかかわりについて
身の回りのことについて	長野市の施策について
今後の生活について	自由意見

(4) 回収結果

配布数	有効回収数	回収率
3,500 件	2,000 件	57.1%

(5) 報告書内のデータ記述について

比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入として算出した。そのために、比率の合計が 100%にならないことがある。

基数とすべき実数は、図表中に「N」として記載した。比率はこの基数を 100%として算出した。

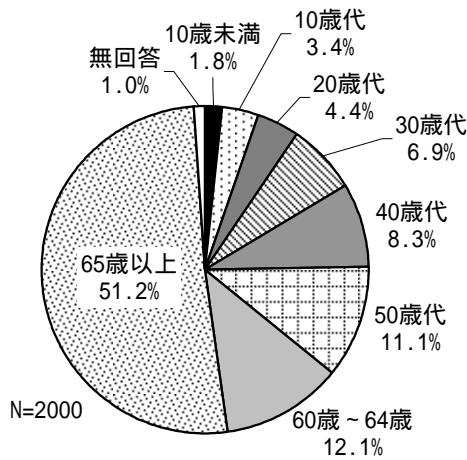
質問の選択肢から複数の回答を認めている場合、比率の合計は 100%を超える。

図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピュータ処理の都合上、省略している箇所がある。

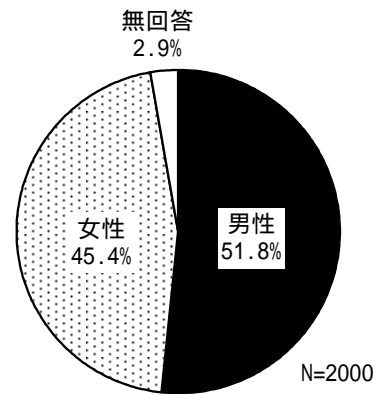
2 調査結果

(1) 回答者本人のことについて

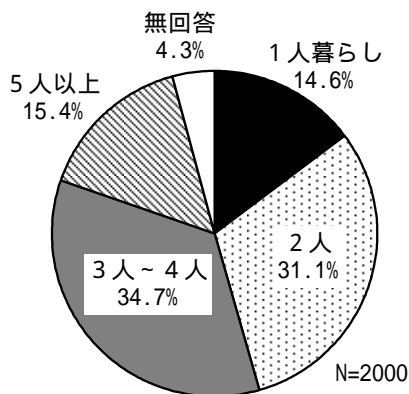
問1 あなたの年齢は。



問2 あなたの性別は。



問3 あなたを含めて、あなたが一緒に住んでいる家族の人数は何人ですか。

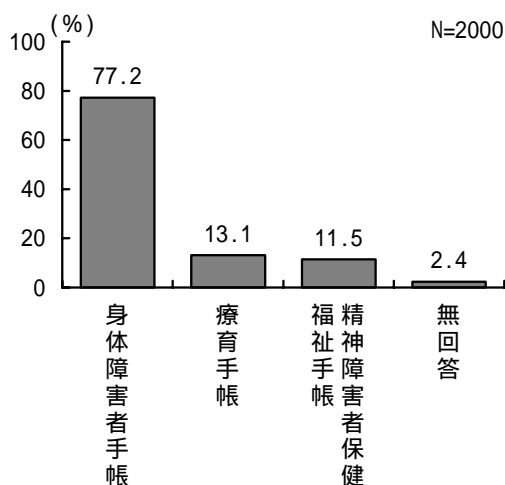


全体では、「3人～4人」34.7%が最も多く、以下「2人」31.1%、「5人以上」15.4%、「1人暮らし」14.6%となっている。

手帳の種類別で見ると、精神障害者の「1人暮らし」22.2%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、視覚障害と聴覚又は平衡機能の障害では「1人暮らし」が比較的多くなっている。

問4 あなたは次の手帳をお持ちですか。（複数回答）

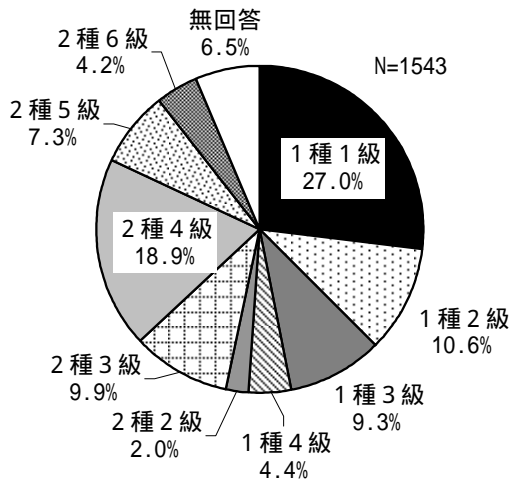


全体では「身体障害者手帳」77.2%が最も多く、以下「療育手帳」13.1%、「精神障害者保健福祉手帳」11.5%となっている。

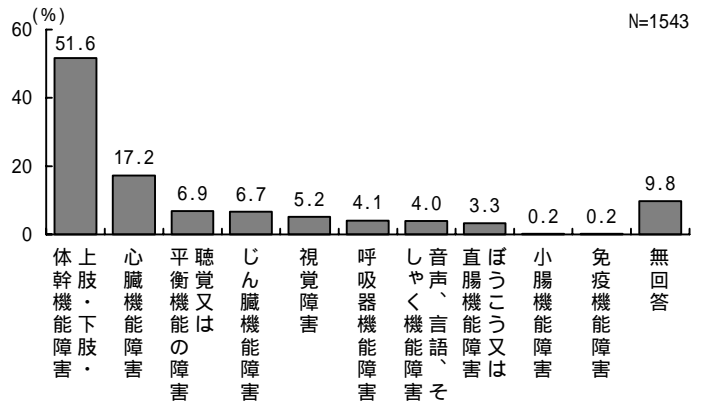
また、複数の手帳を所持しているのは3.8%（76人）となっている。

◆身体障害者手帳の等級、障害の種別

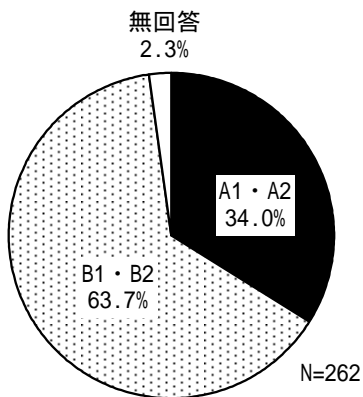
①等級



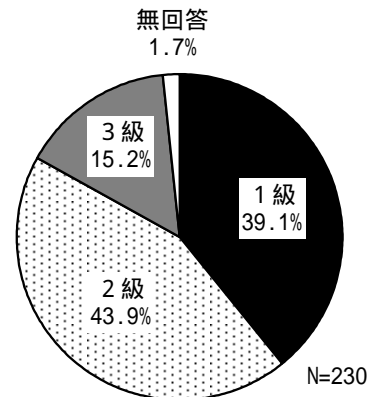
②障害の種別（複数回答）



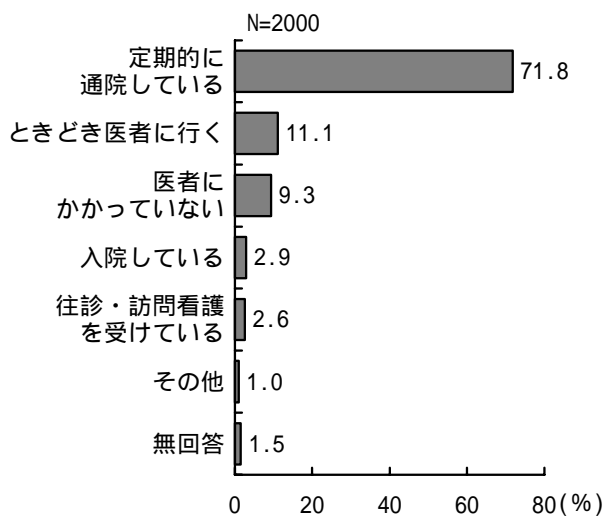
◆療育手帳の判定



◆精神障害者保健福祉手帳の等級



問5 あなたは現在、医者にかかっていますか。



全体では、「定期的に通院している」71.8%が最も多く、以下「ときどき医者に行く」11.1%、「医者にかかっていない」9.3%、「入院している」2.9%、「往診・訪問看護を受けている」2.6%と続いている。

障害の種類別でみると、知的障害者の「医者にかかっていない」27.1%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別に見ると、聴覚又は平衡機能の障害の「医者にかかっていない」23.4%が比較的多くなっている。

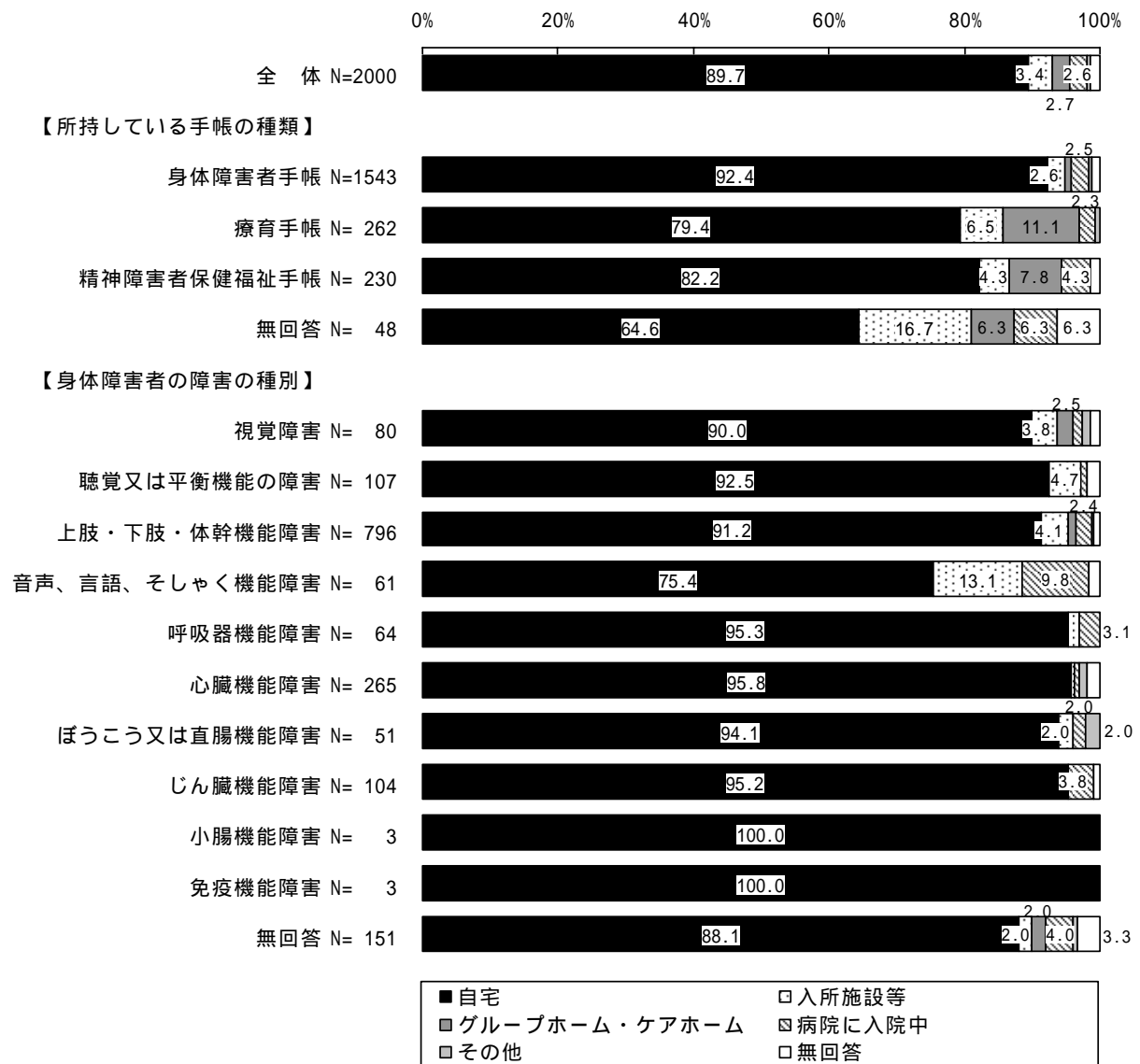
(2) 生活の状況について

問6 現在の生活の場所(寝起きをしている場所)はどこですか。

全体では、「自宅」89.7%が最も多く、以下「入所施設等」3.4%、「グループホーム・ケアホーム」2.7%、「病院に入院中」2.6%、「その他」0.5%となっている。

障害の種類別でみると、知的障害者の「グループホーム・ケアホーム」11.1%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、音声、言語、そしゃく機能障害では「入所施設等」13.1%と「病院に入院中」9.8%が比較的多くなっている。



問7 現在の日中の活動状況についてお聞きします。(複数回答)

全体では、「自宅にいる」55.0%が最も多く、以下「家事(家業)を手伝っている」11.7%、「一般の会社で働いている」11.4%、「通所施設(作業所など)に通っている」10.9%、「入所施設を利用している」6.5%と続いている。

障害の種類別で見ると、知的障害者と精神障害者では「通所施設(作業所など)に通っている」が比較的多くなっている。また、知的障害者では「学校に通っている」19.1%も比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、音声、言語、そしゃく機能障害では「入所施設を利用している」24.6%が比較的多くなっている。

(単位：%)

	全体(人)	自宅にいる	家事(家業)を手伝っている	一般の会社で働いている	通所施設(作業所など)に通っている	入所施設を利用している	学校に通っている	保育園・幼稚園に通っている	その他	無回答
全体	2000	55.0	11.7	11.4	10.9	6.5	3.6	0.5	3.1	6.7
【所持している手帳の種類】										
身体障害者手帳	1543	62.1	13.1	11.7	4.3	5.9	1.7	0.2	3.3	6.5
療育手帳	262	13.0	3.1	12.6	38.9	9.2	19.1	2.3	1.9	4.6
精神障害者保健福祉手帳	230	49.6	10.0	7.4	28.7	7.8	0.4	0.4	3.0	8.3
無回答	48	39.6	4.2	4.2	20.8	20.8	0.0	0.0	2.1	14.6
【身体障害者の障害の種類】										
視覚障害	80	65.0	15.0	7.5	8.8	11.3	1.3	0.0	1.3	5.0
聴覚又は平衡機能の障害	107	57.9	15.9	16.8	1.9	4.7	6.5	1.9	0.9	3.7
上肢・下肢・体幹機能障害	796	60.9	11.9	10.2	6.2	9.2	1.9	0.1	3.6	6.4
音声、言語、そしゃく機能障害	61	62.3	8.2	4.9	6.6	24.6	0.0	0.0	6.6	1.6
呼吸器機能障害	64	82.8	6.3	6.3	3.1	3.1	4.7	0.0	3.1	3.1
心臓機能障害	265	63.0	17.7	15.8	1.9	1.5	1.1	0.0	1.5	6.0
ぼうこう又は直腸機能障害	51	68.6	11.8	11.8	2.0	2.0	0.0	0.0	5.9	3.9
じん臓機能障害	104	62.5	9.6	17.3	1.0	1.9	0.0	0.0	5.8	7.7
小腸機能障害	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
免疫機能障害	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	151	59.6	13.2	6.0	4.6	4.6	0.0	0.0	4.0	13.9

問7-1 通園・通学先に望むことはどのようなことですか。(複数回答)

全体では、「能力や障害の状況にあった支援」56.3%が最も多く、以下「就学相談や進路相談などの相談体制の充実」55.0%、「個別的な支援の充実」53.8%、「施設・設備・教材の充実」41.3%、「関係機関などと連携強化」33.8%、「普通学級での学習や交流の機会の充実」28.8%と続いている。

障害の種類別でみると、知的障害者では「能力や障害の状況にあった支援」66.1%、「関係機関などと連携強化」44.6%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、上肢・下肢・体幹機能障害では「就学相談や進路相談などの相談体制の充実」68.8%、「施設・設備・教材の充実」56.3%が比較的多くなっている。

(単位：%)

	全体(人)	能力や障害の状況にあった支援	就学相談や進路相談などの相談体制の充実	個別的な支援の充実	施設・設備・教材の充実	関係機関などと連携強化	普通学級での学習や交流の機会の充実	その他	とくにない	無回答
全体	80	56.3	55.0	53.8	41.3	33.8	28.8	6.3	1.3	2.5
【所持している手帳の種類】										
身体障害者手帳	29	48.3	62.1	48.3	51.7	24.1	34.5	3.4	3.4	3.4
療育手帳	56	66.1	57.1	57.1	37.5	44.6	25.0	7.1	0.0	1.8
精神障害者保健福祉手帳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【身体障害者の障害の種類別】										
視覚障害	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
聴覚又は平衡機能の障害	8	25.0	50.0	75.0	50.0	0.0	37.5	12.5	12.5	0.0
上肢・下肢・体幹機能障害	16	62.5	68.8	37.5	56.3	37.5	31.3	0.0	0.0	6.3
音声、言語、そしゃく機能障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
呼吸器機能障害	3	66.7	33.3	66.7	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
心臓機能障害	3	33.3	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ぼうこう又は直腸機能障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
じん臓機能障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小腸機能障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
免疫機能障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問7-2 働いていない理由は何ですか。

全体では、「高齢のため」35.2%が最も多く、以下「病院や施設、自宅で療養中のため」20.8%、「家事に専念しているため」10.4%、「自分の障害の状況にあった職場や作業所がない」6.6%、「その他」5.1%、「障害により事業所や作業所などへの通勤・通所が困難なため」4.9%と続いている。

障害の種類別でみると、身体障害者では「高齢のため」、知的障害者と精神障害者では「病院や施設、自宅で療養中のため」が最も多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、音声、言語、そしゃく機能障害や呼吸器機能障害、じん臓機能障害などでは「病院や施設、自宅で療養中のため」が比較的多くなっている。



問8 現在、日中の活動で困っていることや悩んでいることがありますか。

	件数	主な意見	
身体的	307	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行困難、長く歩けない ・身体が思うように動かない ・一人での外出が困難 ・腰が痛い ・膝が痛い、曲がらない ・手足が不自由 ・仕事が思うようにできない 	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴で人との会話が困難 ・目が見えないので生活が不自由 ・呼吸困難になる ・除雪や草刈り、地区の当番 ・介助が必要 ・疲れやすい ・トイレに困っている 等
経済的	46	<ul style="list-style-type: none"> ・生活が苦しい ・年金が少ない ・タクシー代がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・給料が少ない ・利用料で年金が残らない ・医療費がかかる 等
仕事	41	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場がない、みつからない ・工賃が安い ・働く時間が短い 	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたい仕事に就けない ・フルタイム勤務がしづらい ・できる仕事に限られる 等
移動・交通手段	35	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い ・交通手段が限られている ・送迎してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護のため、車の運転ができない ・車の運転ができないので移動が不便 ・バス路線等を増やしてほしい 等
精神的	34	<ul style="list-style-type: none"> ・鬱状態になっている ・人間関係 ・家族の病気で悩んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・外に出るのが怖い ・不安を感じる ・周りに馴染めない 等
理解がない	31	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者に対する偏見や差別 ・会社の理解がない ・自閉症を理解してもらえない ・身障者用の駐車場やシルバーシートが健常者に利用されている 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の作業に参加できず肩身が狭い ・一般の会社だと通院しにくい、気を使う ・体調が悪くても同じことを要求される
人間関係	26	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係がうまくいかない ・相談する人が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語障害等で意思の疎通が困難 ・コミュニケーションが取りにくい 等
将来	19	<ul style="list-style-type: none"> ・将来に不安を感じる ・一人になった時に困る ・病気が悪くなることが心配 	<ul style="list-style-type: none"> ・親亡き後が不安 ・重度化した場合に受け入れ先があるか ・卒業後、何ができるのか 等
生活・相談支援	19	<ul style="list-style-type: none"> ・家事ができない ・食事の用意ができない ・留守番している時すぐ対応できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出ができない ・引きこもりになっている ・相談や話を聞いてくれる人がほしい 等
バリアフリー	16	<ul style="list-style-type: none"> ・駅に階段が多く大変 ・歩道や階段の段差が分かりにくい ・点字ブロックの上に障害物がある ・交通機関の音声案内が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察や消防に手話のできる人がいない ・歩道と道路の間が狭い ・駐車場が遠い ・トイレが少ない 等
施設の充実	14	<ul style="list-style-type: none"> ・休日等の活動場所に制限がある ・入所施設が少ない、入れない ・学校がある日に施設が利用できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望日に支援センターが利用できない ・児童精神治療施設がない ・気軽に利用できる入浴施設がない 等
家族の負担	14	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の介護や世話で留守にできない ・家族がいないと一人では行動できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護疲れがみられる ・親にすべての負担がかかってくる 等
その他	112	<ul style="list-style-type: none"> ・運動不足 ・日中眠くなる ・気軽に参加できる余暇活動がない ・家事や育児で人との交流の場がない ・ストマが外れてしまう 	<ul style="list-style-type: none"> ・やることなく暇、退屈 ・休みの日に行くところがない ・施設に行きたがらない ・大声で騒ぐので近所や出先で困ることがある ・情報が十分把握できない 等
計	714		

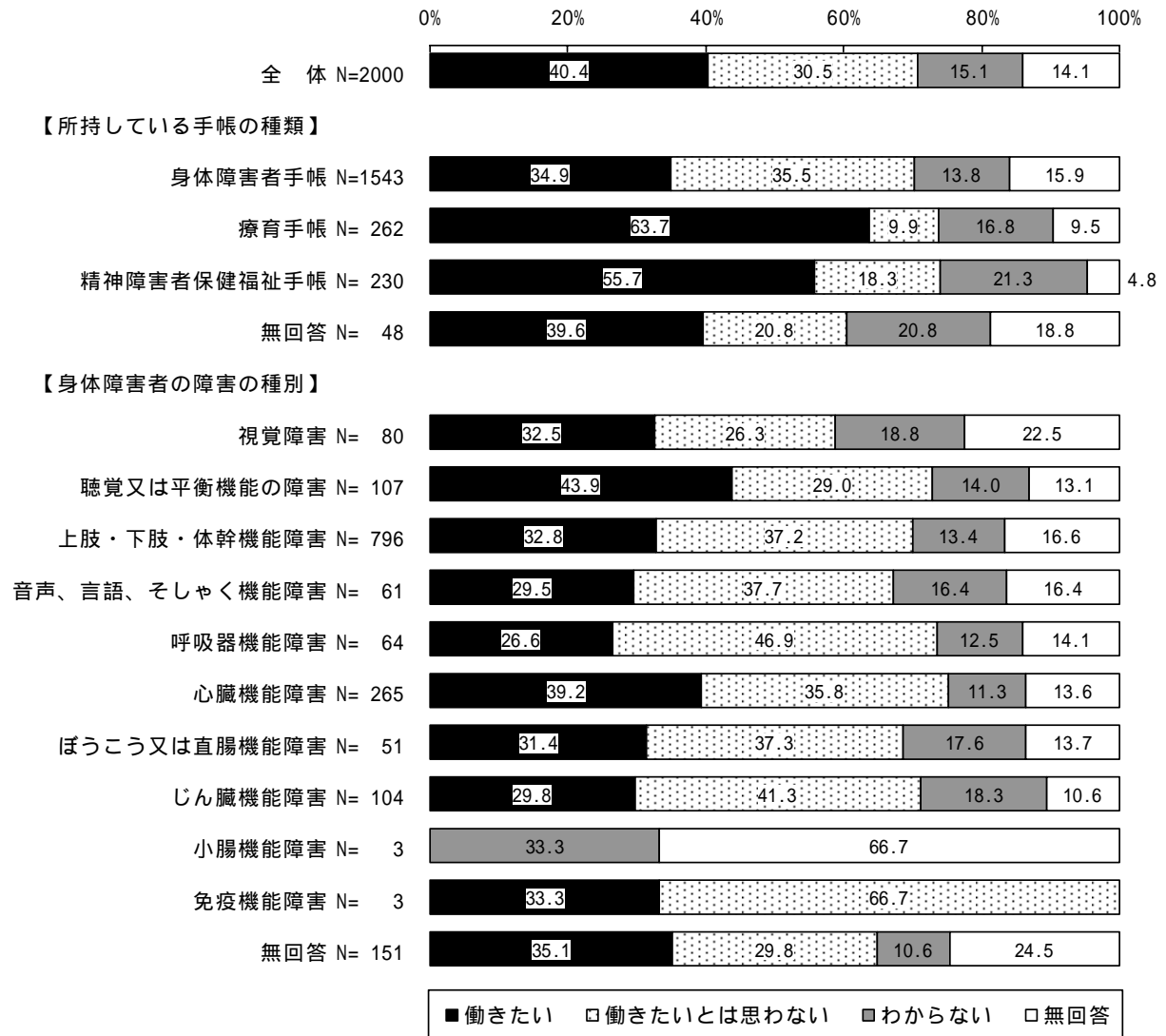
(3) 今後の就労について

問9 あなたは今後、働きたいと思いますか。

全体では、「働きたい」40.4%、「働きたいとは思わない」30.5%、「わからない」15.1%となっている。

障害の種類別でみると、知的障害者と精神障害者では「働きたい」が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、呼吸器機能障害とじん臓機能障害などでは「働きたいとは思わない」が比較的多くなっている。

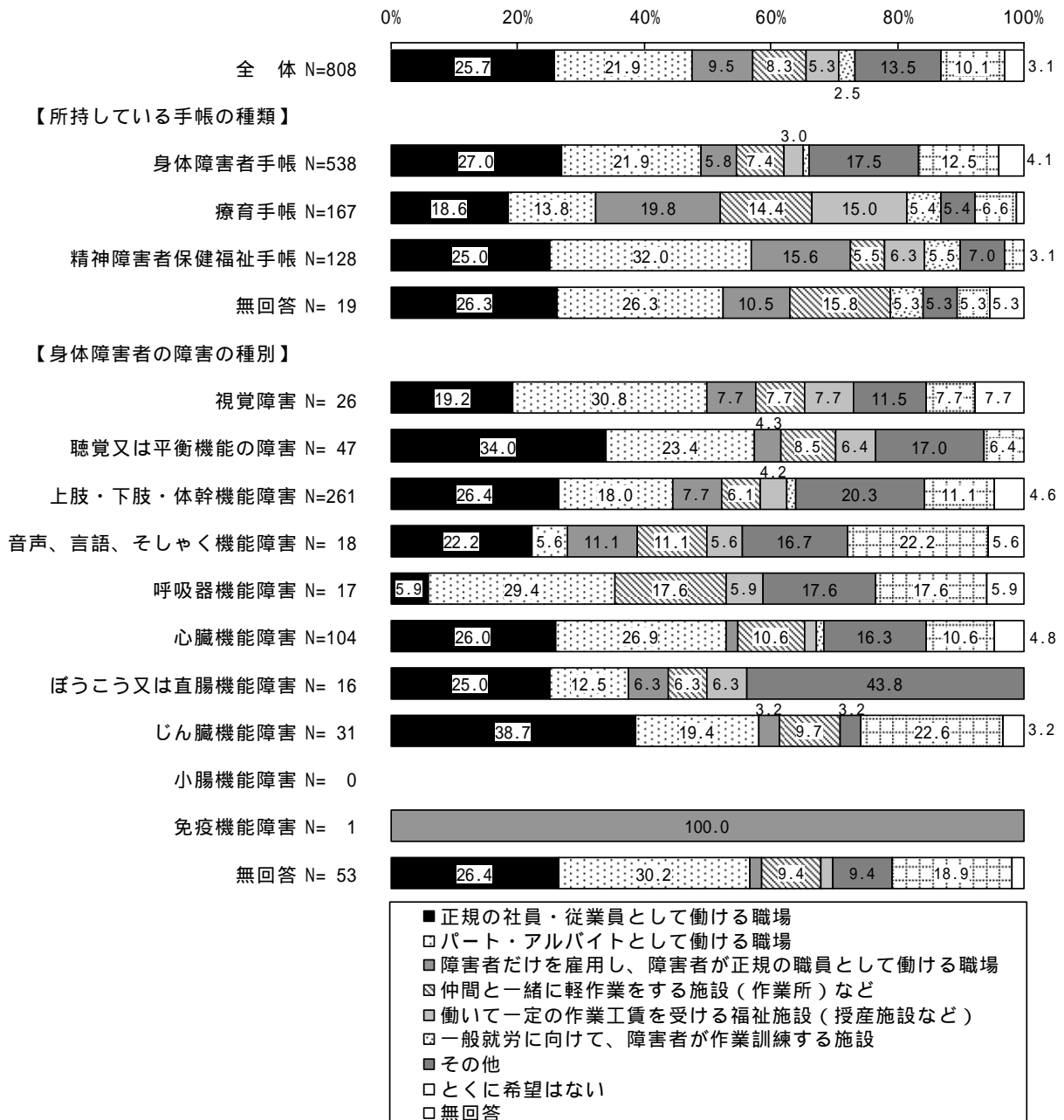


問9-1 あなたは今後、「働く場」として、どのようなところを希望しますか。

全体では、「正規の社員・従業員として働ける職場」25.7%が最も多く、以下「パート・アルバイトとして働ける職場」21.9%、「その他」13.5%、「とくに希望はない」10.1%、「障害者だけを雇用し、障害者が正規の職員として働ける職場」9.5%と続いている。

障害の種類別でみると、知的障害者では「障害者だけを雇用し、障害者が正規の職員として働ける職場」19.8%、「働いて一定の作業工賃を受ける福祉施設（授産施設など）」15.0%、「仲間と一緒に軽作業をする施設（作業所）など」14.4%が比較的多くなっている。また、精神障害者では「パート・アルバイトとして働ける職場」32.0%、「障害者だけを雇用し、障害者が正規の職員として働ける職場」15.6%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、視覚障害では、「パート・アルバイトとして働ける職場」、聴覚又は平衡機能の障害とじん臓機能障害では「正規の社員・従業員として働ける職場」が比較的多くなっている。



問 10 障害のある人が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。
(主なもの3つまで)

全体では、「周囲が自分を理解してくれる」34.0%が最も多く、以下「生活できるだけの賃金が支給される」30.5%、「通勤手段がある」25.1%、「勤務する時間や日数を調整できる」22.3%と続いている。

障害の種類別で見ると、知的障害者と精神障害者では「周囲が自分を理解してくれる」、「生活できるだけの賃金が支給される」「就職や職場に慣れるまで相談に乗ったり、援助してくれる人がいる」などが比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、視覚障害では「通勤手段がある」、聴覚又は平衡機能の障害では「周囲が自分を理解してくれる」、じん臓機能障害では「通院等の保障がある」や「勤務する時間や日数を調整できる」が比較的多くなっている。

(単位：%)

	全体 (人)	周囲が自分を理 解してくれる	生活できるだけ の賃金が支給さ れる	通勤 手段がある	勤務する時間や 日数を調整でき る	通院等 の保障が ある	就職や職場に慣 れるまで相談に 乗ったり、援助し てくれる人がい る	自宅 で仕 事が でき る
全体	2000	34.0	30.5	25.1	22.3	14.9	14.9	14.7
【所持している手帳の種類】								
身体障害者手帳	1543	30.1	27.0	23.4	22.0	14.8	11.1	16.6
療育手帳	262	47.3	43.5	38.5	13.7	8.4	30.2	4.2
精神障害者保健福祉手帳	230	48.7	40.9	24.3	33.5	22.2	24.3	11.3
無回答	48	33.3	22.9	12.5	16.7	14.6	16.7	8.3
【身体障害者の障害の種類】								
視覚障害	80	40.0	30.0	36.3	10.0	10.0	13.8	15.0
聴覚又は平衡機能の障害	107	46.7	31.8	19.6	18.7	9.3	15.9	16.8
上肢・下肢・体幹機能障害	796	29.5	28.0	26.1	18.2	11.6	12.7	15.5
音声、言語、そしゃく機能障害	61	27.9	24.6	18.0	16.4	13.1	14.8	14.8
呼吸器機能障害	64	25.0	18.8	12.5	31.3	17.2	4.7	17.2
心臓機能障害	265	25.3	24.5	20.0	31.7	17.7	8.7	16.6
ぼうこう又は直腸機能障害	51	31.4	25.5	13.7	29.4	15.7	9.8	25.5
じん臓機能障害	104	25.0	21.2	13.5	33.7	31.7	5.8	20.2
小腸機能障害	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
免疫機能障害	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7
無回答	151	20.5	22.5	23.8	19.2	15.9	9.3	17.9

	勤務場 所に障 害が 整っ てい る	職業 訓練 等 で就 業の ため の技 術を 身に つけ る	共同 作業 所や 授産 施設、 就労 継続 支 援事 業所 等通 所施 設を 確保 する	知的 障害 者 に 対 する 職 親 委 託 制 度 が 実 施 さ れ る	そ の 他	と く に な い	無 回 答
全体	12.4	6.2	6.1	4.2	1.9	4.8	21.8
【所持している手帳の種類】							
身体障害者手帳	14.8	5.6	4.6	1.7	1.6	5.5	25.1
療育手帳	6.1	8.4	16.0	19.5	3.4	1.9	8.0
精神障害者保健福祉手帳	3.9	7.0	7.4	3.9	2.6	2.6	11.3
無回答	8.3	10.4	4.2	8.3	2.1	4.2	29.2
【身体障害者の障害の種類】							
視覚障害	20.0	6.3	1.3	0.0	0.0	7.5	23.8
聴覚又は平衡機能の障害	9.3	2.8	5.6	1.9	0.9	6.5	19.6
上肢・下肢・体幹機能障害	20.9	7.5	6.0	2.0	1.6	4.0	25.9
音声、言語、そしゃく機能障害	9.8	8.2	1.6	9.8	1.6	11.5	26.2
呼吸器機能障害	9.4	4.7	9.4	1.6	3.1	4.7	37.5
心臓機能障害	7.2	3.8	3.4	0.8	1.9	7.2	26.4
ぼうこう又は直腸機能障害	17.6	3.9	7.8	0.0	0.0	2.0	21.6
じん臓機能障害	9.6	5.8	1.9	1.9	1.0	3.8	29.8
小腸機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
免疫機能障害	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	8.6	0.7	2.0	1.3	2.0	7.9	29.1

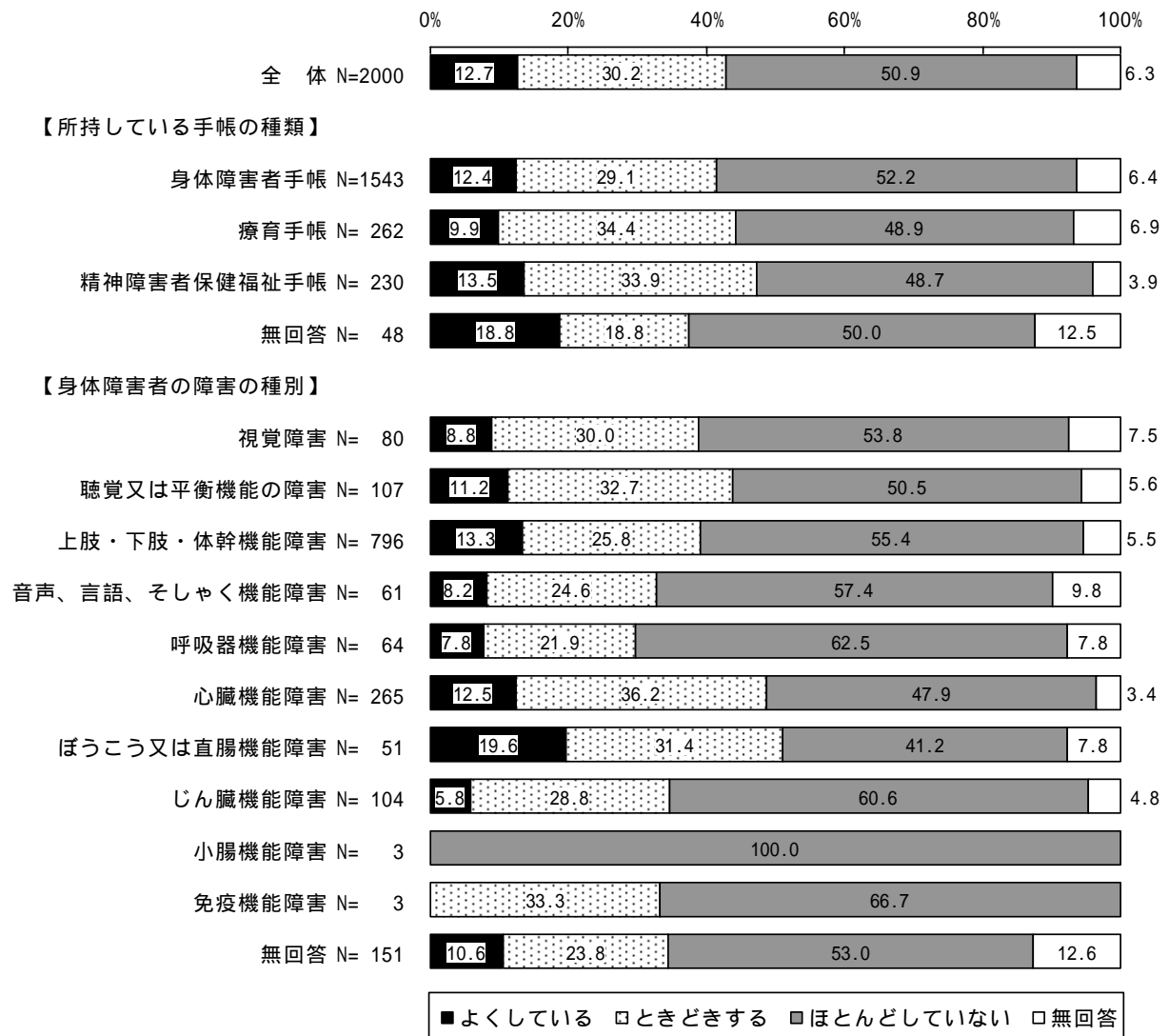
(4) 現在の活動について

問 11 スポーツ、レクリエーション、趣味等の活動はしていますか。

全体では、「ほとんどしていない」50.9%、「ときどきする」30.2%、「よくしている」12.7%となっている。

障害の種類別で見ると、知的障害者では「よくしている」9.9%が比較的少なくなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、「よくしている」は、ぼうこう又は直腸機能障害では比較的多く、じん臓機能障害では比較的少なくなっている。



問 11-1 活動をしていない理由は何ですか。(2つまで)

全体では、「高齢」37.1%が最も多く、以下「障害が重い」34.5%、「興味がない」19.7%、「活動を支援してくれる人がいない」12.5%、「その他」12.4%と続いている。

障害の種類別でみると、知的障害者と精神障害者では「興味がない」が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、音声、言語、そしゃく機能障害では「障害が重い」、聴覚又は平衡機能の障害や心臓機能障害、ぼうこう又は直腸機能障害などでは「高齢」が比較的多くなっている。

(単位：%)

	全体 (人)	高齢	障害が 重い	興味 がない	活動 を支援 してく れる 人が いない	施設・ 設備が ない	サー クルが ない	その 他	無 回 答
全体	1017	37.1	34.5	19.7	12.5	6.8	6.3	12.4	2.6
【所持している手帳の種類】									
身体障害者手帳	805	43.7	38.3	15.4	9.6	6.2	3.9	11.8	2.7
療育手帳	128	5.5	21.1	34.4	29.7	12.5	15.6	10.9	1.6
精神障害者保健福祉手帳	112	12.5	26.8	39.3	12.5	7.1	12.5	17.0	3.6
無回答	24	45.8	16.7	20.8	16.7	0.0	4.2	8.3	12.5
【身体障害者の障害の種類別】									
視覚障害	43	44.2	34.9	18.6	14.0	9.3	2.3	7.0	0.0
聴覚又は平衡機能の障害	54	55.6	37.0	20.4	11.1	5.6	3.7	7.4	1.9
上肢・下肢・体幹機能障害	441	40.1	45.6	12.2	9.8	6.6	4.5	12.2	2.7
音声、言語、そしゃく機能障害	35	31.4	71.4	17.1	8.6	2.9	0.0	8.6	0.0
呼吸器機能障害	40	45.0	45.0	10.0	10.0	5.0	2.5	10.0	0.0
心臓機能障害	127	56.7	34.6	17.3	5.5	4.7	1.6	9.4	4.7
ぼうこう又は直腸機能障害	21	57.1	28.6	9.5	4.8	9.5	0.0	19.0	0.0
じん臓機能障害	63	41.3	46.0	6.3	11.1	3.2	1.6	12.7	3.2
小腸機能障害	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
免疫機能障害	2	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	80	42.5	31.3	20.0	13.8	5.0	5.0	10.0	2.5

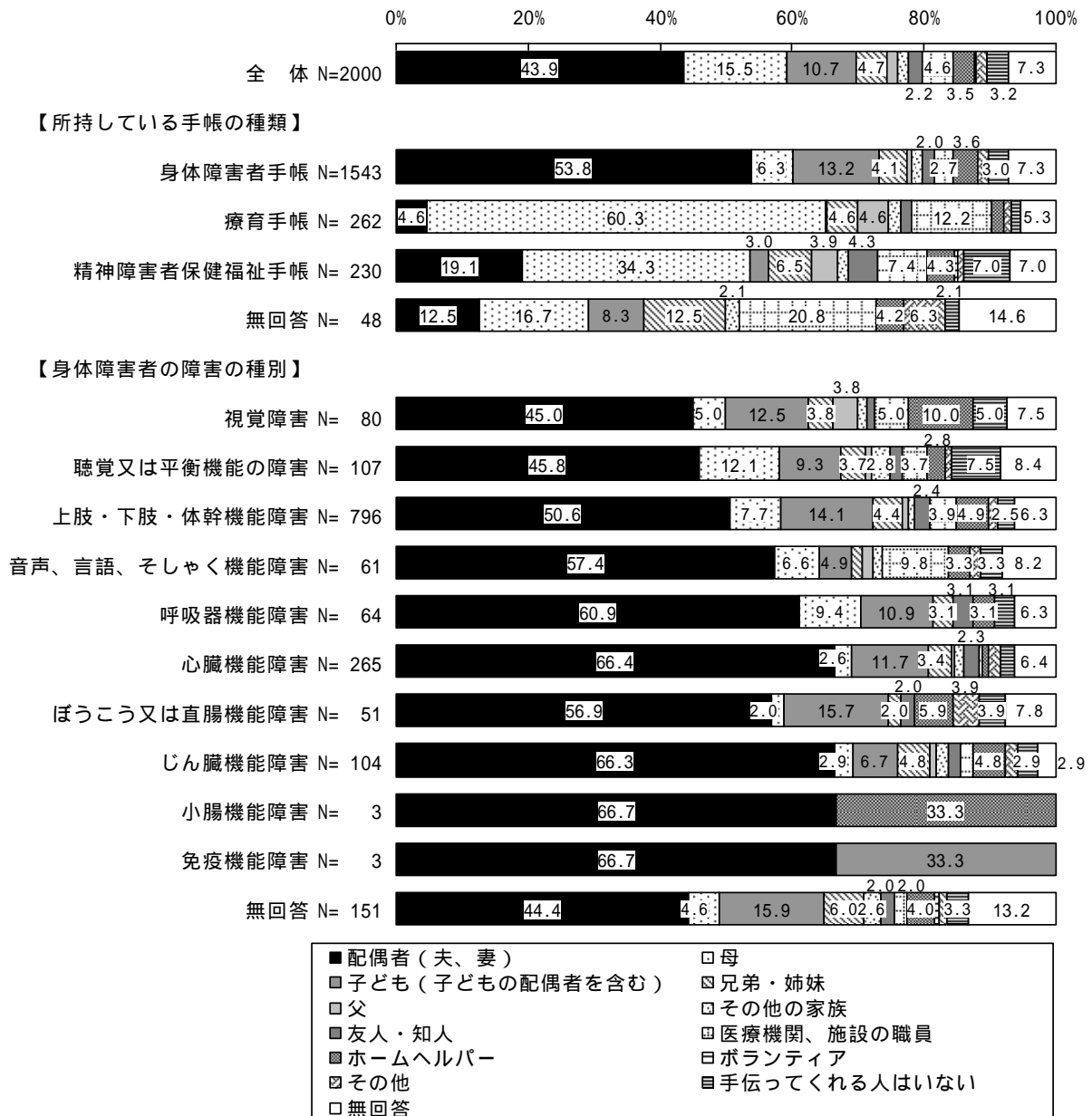
(5) 身の回りのことについて

問 12 身の回りの手伝いが必要なとき、主に誰に手伝ってもらいますか。

全体では、「配偶者（夫、妻）」43.9%が最も多く、以下「母」15.5%、「子ども（子どもの配偶者を含む）」10.7%、「兄弟・姉妹」4.7%、「医療機関、施設の職員」4.6%と続いている。

障害の種類別でみると、身体障害者では「配偶者（夫、妻）」、知的障害者と精神障害者では「母」が最も多くなっている。

身体障害者の障害種類別にもと、視覚障害では「ホームヘルパー」10.0%が比較的が多くなっている。

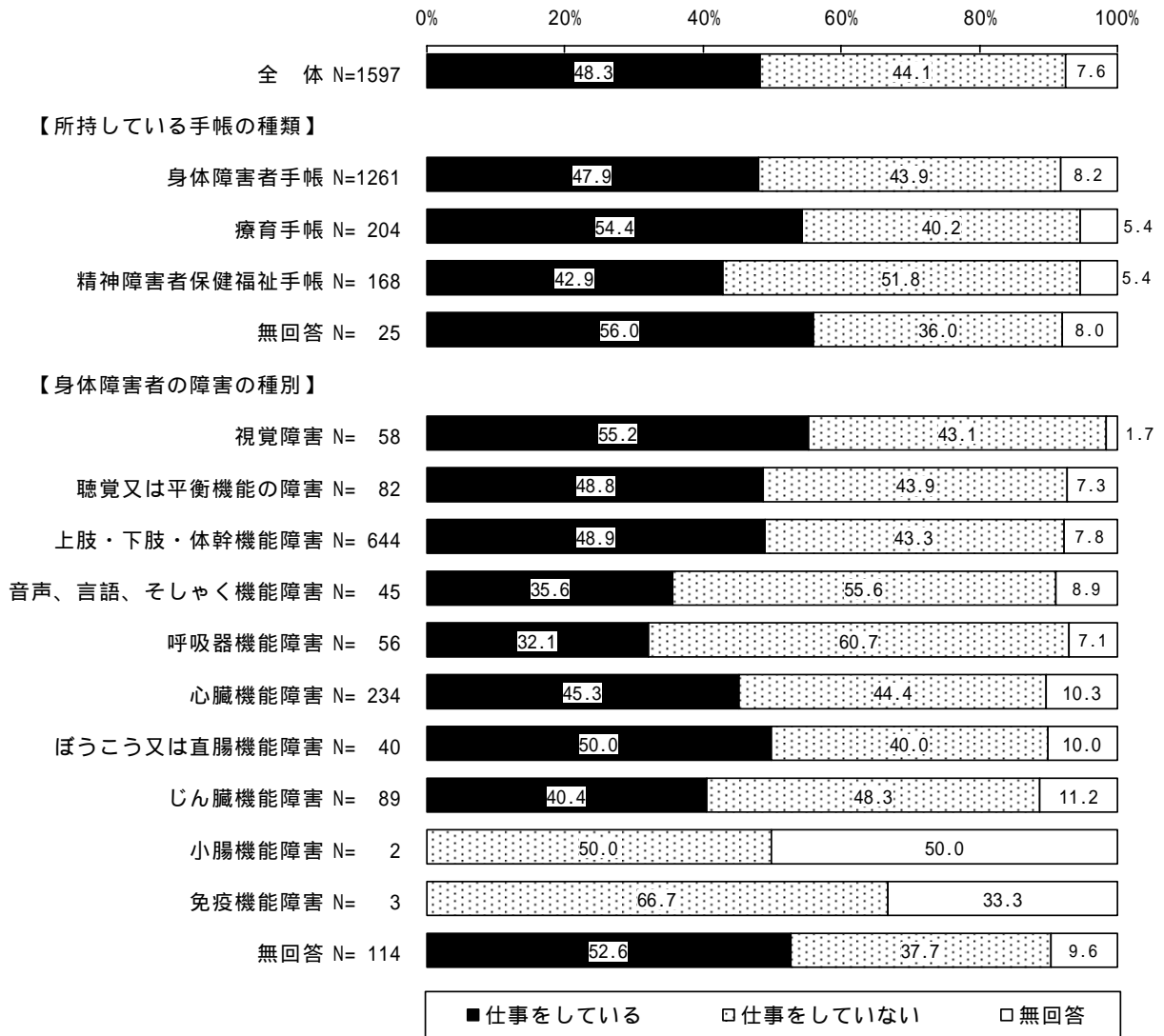


問 12-1 その方は仕事をしていますか。

全体では、「仕事をしている」48.3%、「仕事をしていない」44.1%となっている。

障害の種類別でみると、知的障害者では「仕事をしている」が54.4%で比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、音声、言語、そしゃく機能障害と呼吸器機能障害では「仕事をしている」が比較的少なくなっている。

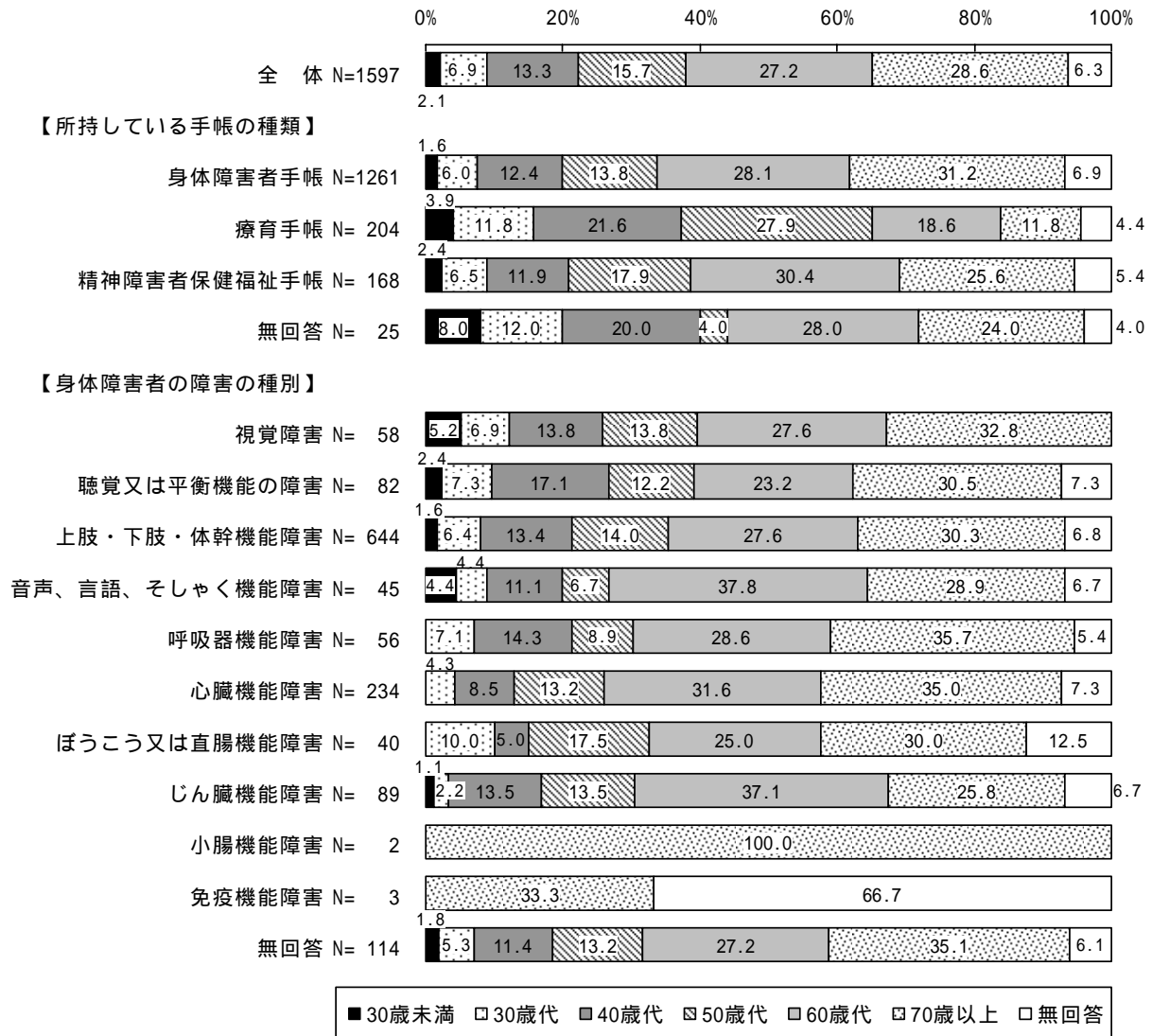


問 12-2 その方の年齢は何歳ですか。

全体では、「70歳以上」28.6%が最も多く、以下「60歳代」27.2%、「50歳代」15.7%、「40歳代」13.3%と続いている。

障害の種類別でみると、知的障害者では「40歳代」21.6%や「50歳代」27.9%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、音声、言語、そしゃく機能障害やじん臓機能障害では「60歳代」が比較的多くなっている。



問 12-3 その方が手伝えなくなった場合、どうしますか。（複数回答）

全体では、「同居している他の家族に頼む」30.5%が最も多く、以下「介護や家事援助などのサービスを利用する」29.9%、「同居していない家族や親戚に頼む」23.2%、「ひとりだけでなんとかする」18.7%、「病院などの医療機関に相談する」15.8%、「施設短期入所（ショートステイ）を利用する」15.5%と続いている。

障害の種類別でみると、知的障害者では「同居している他の家族に頼む」45.6%、精神障害者では「ひとりだけでなんとかする」27.4%、「病院などの医療機関に相談する」27.4%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、視覚障害では「同居していない家族や親戚に頼む」37.9%、呼吸器機能障害では「同居している他の家族に頼む」39.3%、ぼうこう又は直腸機能障害では「ひとりだけでなんとかする」30.0%が比較的多くなっている。

（単位：％）

	全体（人）	同居している他の家族に頼む	介護や家事援助などのサービスを利用する	同居していない家族や親戚に頼む	ひとりだけでなんとかする	病院などの医療機関に相談する	施設短期入所（ショートステイ）を利用する	ボランティアに頼む	近所の人や友人・知人に頼む	その他	わからない	無回答
全体	1597	30.5	29.9	23.2	18.7	15.8	15.5	5.9	5.6	2.3	8.2	3.9
【所持している手帳の種類】												
身体障害者手帳	1261	28.7	31.3	23.8	18.2	15.9	15.7	5.4	6.0	1.9	8.2	3.9
療育手帳	204	45.6	24.5	20.6	11.3	6.9	22.5	6.9	2.5	2.9	9.3	5.4
精神障害者保健福祉手帳	168	26.8	24.4	25.0	27.4	27.4	7.7	8.3	5.4	6.0	7.7	3.0
無回答	25	36.0	24.0	12.0	28.0	4.0	28.0	4.0	4.0	0.0	4.0	4.0
【身体障害者の障害の種類別】												
視覚障害	58	27.6	29.3	37.9	13.8	13.8	15.5	5.2	10.3	5.2	6.9	0.0
聴覚又は平衡機能の障害	82	26.8	22.0	26.8	20.7	15.9	13.4	4.9	6.1	1.2	8.5	3.7
上肢・下肢・体幹機能障害	644	28.7	35.4	23.3	16.8	14.9	19.4	5.4	6.2	2.0	8.4	4.2
音声、言語、そしゃく機能障害	45	24.4	28.9	26.7	17.8	22.2	24.4	8.9	2.2	2.2	2.2	4.4
呼吸器機能障害	56	39.3	33.9	28.6	14.3	25.0	17.9	5.4	5.4	1.8	7.1	1.8
心臓機能障害	234	27.8	29.1	21.4	19.7	20.9	12.4	5.6	4.7	1.3	8.1	3.8
ぼうこう又は直腸機能障害	40	27.5	20.0	27.5	30.0	22.5	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0
じん臓機能障害	89	28.1	27.0	24.7	15.7	20.2	6.7	2.2	3.4	1.1	9.0	2.2
小腸機能障害	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
免疫機能障害	3	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
無回答	114	29.8	28.9	16.7	14.9	11.4	15.8	6.1	7.0	3.5	5.3	7.9

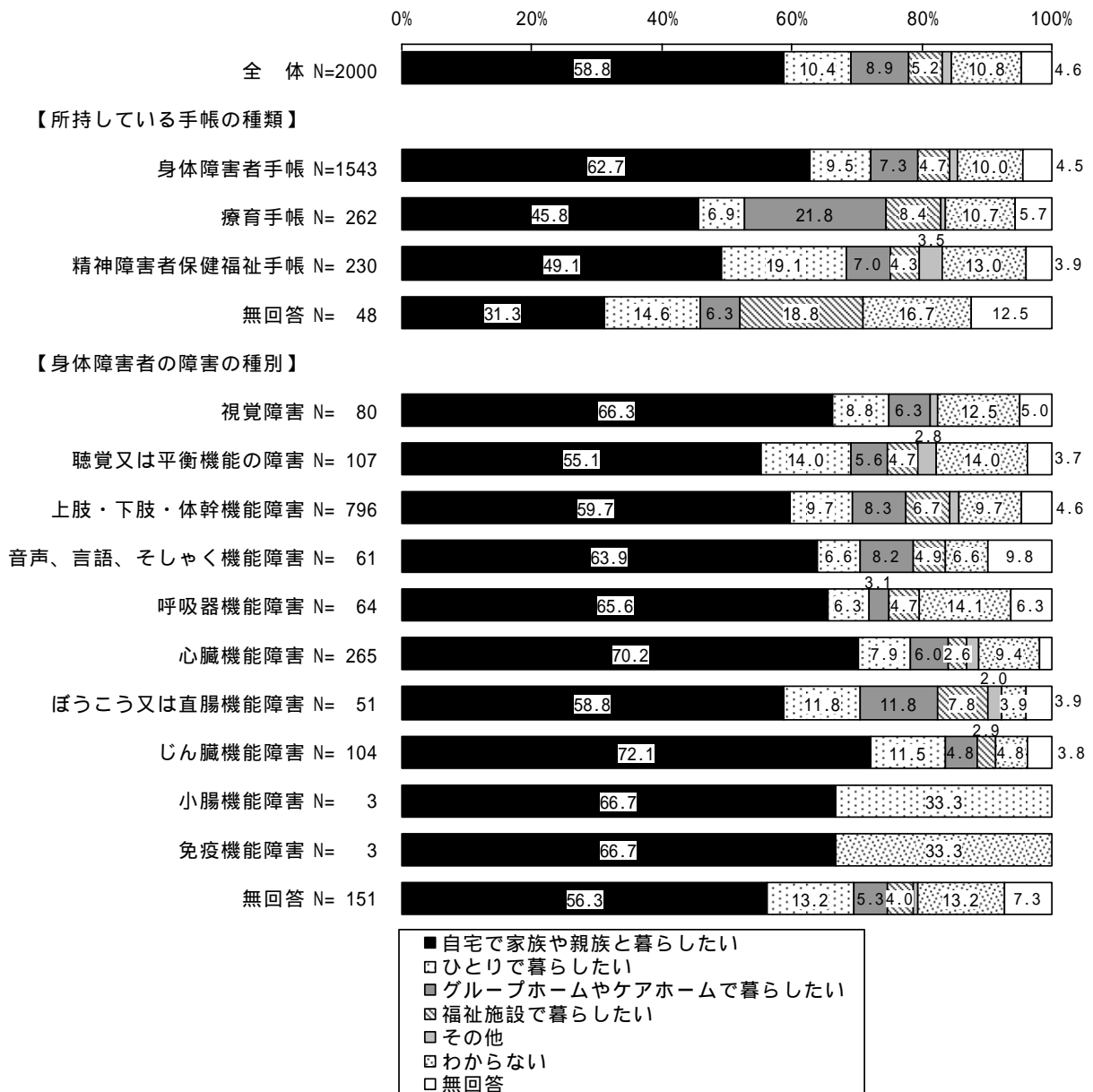
(6) 今後の生活について

問 13 あなたは、これからの生活をどのように送りたいとお考えですか。

全体では、「自宅で家族や親族と暮らしたい」58.8%が最も多く、以下「わからない」10.8%、「ひとりで暮らしたい」10.4%、「グループホームやケアホームで暮らしたい」8.9%と続いている。

障害の種類別でみると、知的障害者では「グループホームやケアホームで暮らしたい」21.8%、精神障害者では「ひとりで暮らしたい」19.1%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、心臓機能障害やじん臓機能障害では「自宅で家族や親族と暮らしたい」が比較的多くなっている。

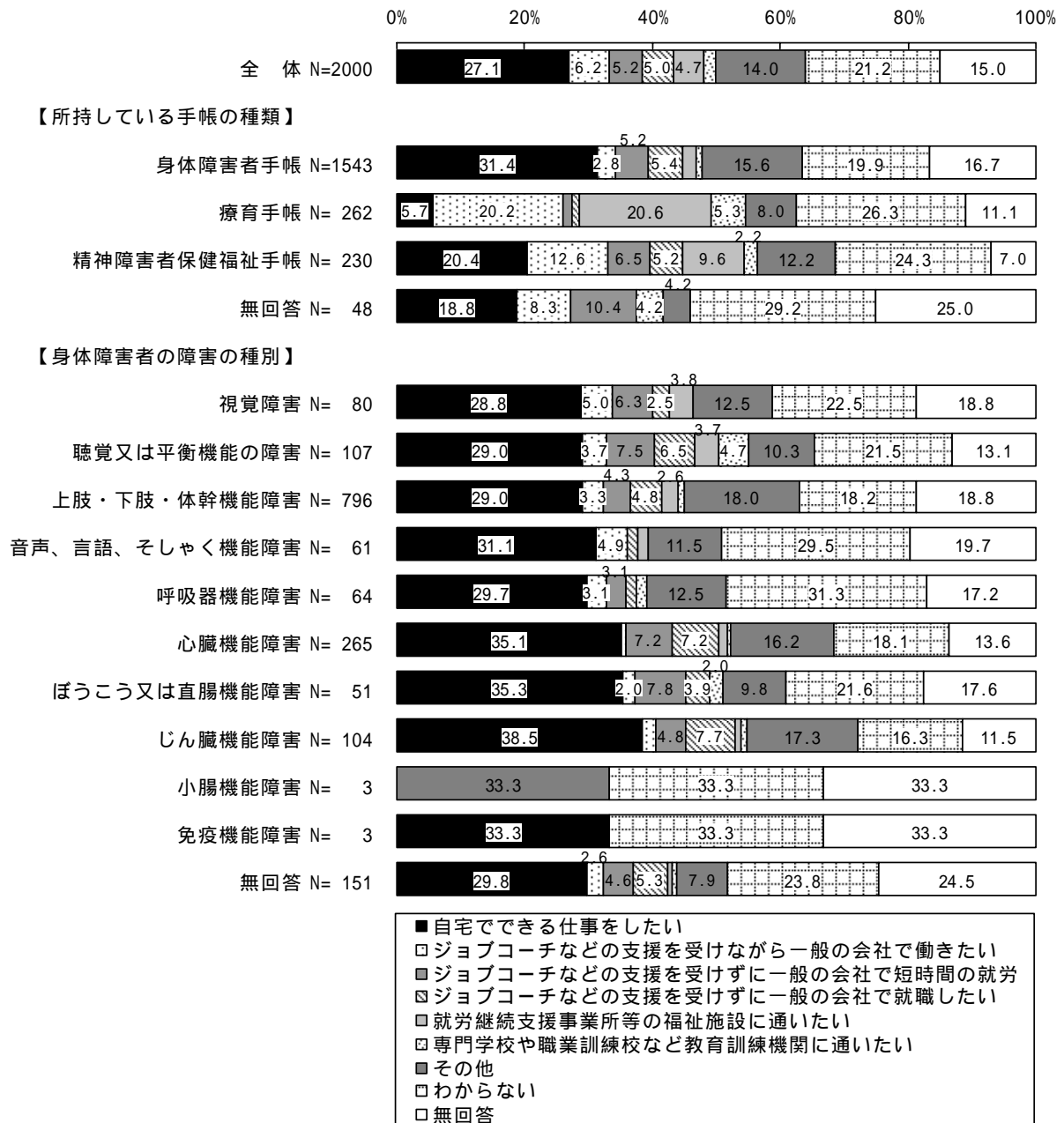


問 14 あなたは、今後、日中どのように過ごしたいと思いますか。

全体では、「自宅でできる仕事をしたい」27.1%が最も多く、以下「わからない」21.2%、「その他」14.0%、「ジョブコーチなどの支援を受けながら一般の会社で働きたい」6.2%と続いている。

障害の種類別でみると、知的障害者では「就労継続支援事業所等の福祉施設に通いたい」20.6%や「ジョブコーチなどの支援を受けながら一般の会社で働きたい」20.2%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、心臓機能障害やぼうこう又は直腸機能障害、じん臓機能障害では「自宅でできる仕事をしたい」が比較的多くなっている。



(7) 情報収集について

問 15 あなたが、ほしい情報はどのような内容ですか。(複数回答)

全体では、「福祉施設の内容や各種サービスのこと」36.1%が最も多く、以下「医療機関のこと」30.7%、「趣味に関すること」21.6%、「とくにない」19.4%、「仕事のこと」18.6%と続いている。

障害の種類別で見ると、知的障害者と精神障害者では「仕事のこと」が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、視覚障害と上肢・下肢・体幹機能障害では「駅、商店、公園、行楽地等の施設の設備のこと」が比較的多くなっている。

(単位：%)

	全体(人)	福祉施設の内容や各種サービスのこと	医療機関のこと	趣味に関すること	仕事のこと	駅、商店、公園、行楽地等の施設の設備のこと	行政施策や公的団体活動のこと	その他	とくにない	無回答
全体	2000	36.1	30.7	21.7	18.6	17.0	14.9	1.8	19.4	9.1
【所持している手帳の種類】										
身体障害者手帳	1543	35.3	32.2	19.6	12.5	19.6	13.5	1.4	20.5	9.3
療育手帳	262	44.3	17.2	22.5	32.1	10.3	18.7	2.3	13.7	9.9
精神障害者保健福祉手帳	230	38.3	35.2	32.2	43.5	7.0	22.2	3.9	13.5	6.5
無回答	48	18.8	20.8	27.1	20.8	8.3	12.5	2.1	25.0	18.8
【身体障害者の障害の種類別】										
視覚障害	80	36.3	35.0	27.5	13.8	28.8	15.0	2.5	15.0	11.3
聴覚又は平衡機能の障害	107	32.7	29.0	23.4	15.9	15.9	14.0	1.9	27.1	8.4
上肢・下肢・体幹機能障害	796	41.2	33.8	17.5	9.9	25.5	14.6	1.8	17.1	9.3
音声、言語、そしゃく機能障害	61	36.1	29.5	19.7	6.6	11.5	14.8	1.6	21.3	14.8
呼吸器機能障害	64	31.3	35.9	20.3	10.9	17.2	15.6	1.6	20.3	12.5
心臓機能障害	265	30.9	35.1	21.9	14.0	13.6	13.6	1.5	20.8	7.5
ぼうこう又は直腸機能障害	51	27.5	39.2	31.4	17.6	17.6	13.7	0.0	19.6	15.7
じん臓機能障害	104	28.8	29.8	13.5	10.6	9.6	13.5	1.0	27.9	7.7
小腸機能障害	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
免疫機能障害	3	100.0	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	151	25.2	19.9	17.2	19.2	13.2	6.0	0.0	25.2	12.6

(8) 相談ごとについて

問 16 あなたは、生活上の悩みごとや心配ごとを誰に相談していますか。(複数回答)

全体では、「家族」65.8%が最も多く、以下「病院・診療所の医師や看護師等」23.7%、「友人・知人、近所の人」17.6%、「入所・通所している福祉施設の職員」12.2%、「相談支援専門員及びケアプランナー」10.9%と続いている。

障害の種類別で見ると、知的障害者では「入所・通所している福祉施設の職員」30.2%や「学校・職場の関係者」11.5%、精神障害者では「病院・診療所の医師や看護師等」48.7%、「入所・通所している福祉施設の職員」26.1%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、聴覚又は平衡機能の障害とぼうこう又は直腸機能障害では「相談する人はいない」が約1割となっている。

(単位：%)

	全体 (人)	家族	病院・診療所の 医師や看護師等	友人・知人、 近所の人	入所・通所して いる福祉施設 の職員	相談支援専門員 及びケアプラン ナー	ホームヘルパー や訪問看護師等	市の職員
全体	2000	65.8	23.7	17.6	12.2	10.9	6.4	4.8
【所持している手帳の種類】								
身体障害者手帳	1543	68.1	21.5	17.0	6.9	10.2	7.1	4.5
療育手帳	262	58.8	16.0	14.9	30.2	16.4	2.3	6.5
精神障害者保健福祉手帳	230	59.6	48.7	23.0	26.1	10.9	6.5	5.2
無回答	48	33.3	14.6	16.7	31.3	14.6	6.3	4.2
【身体障害者の障害の種類別】								
視覚障害	80	70.0	23.8	16.3	11.3	12.5	6.3	8.8
聴覚又は平衡機能の障害	107	71.0	17.8	20.6	4.7	8.4	4.7	5.6
上肢・下肢・体幹機能障害	796	67.2	20.0	17.1	9.2	14.3	9.2	5.3
音声、言語、そしゃく機能障害	61	60.7	39.3	9.8	19.7	11.5	11.5	13.1
呼吸器機能障害	64	60.9	37.5	7.8	4.7	12.5	17.2	7.8
心臓機能障害	265	73.6	19.6	16.6	2.3	6.4	5.3	3.0
ぼうこう又は直腸機能障害	51	56.9	29.4	9.8	5.9	5.9	3.9	7.8
じん臓機能障害	104	73.1	32.7	16.3	2.9	5.8	2.9	3.8
小腸機能障害	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
免疫機能障害	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
無回答	151	58.9	19.2	17.2	9.3	6.6	9.3	3.3

	民生委員・児童 委員	学校・職場の関 係者	障害者団体	心身障害者相談 員	ボランティア等 の福祉団体	その他	相談する人はい ない	無回答
全体	4.1	2.8	2.6	2.3	1.1	2.5	5.9	6.6
【所持している手帳の種類】								
身体障害者手帳	4.9	1.9	2.6	2.1	1.1	2.1	6.1	6.7
療育手帳	1.1	11.5	2.7	2.3	1.5	3.4	4.2	7.6
精神障害者保健福祉手帳	2.6	2.2	3.0	3.5	1.3	3.0	4.8	2.2
無回答	2.1	0.0	2.1	2.1	0.0	4.2	8.3	14.6
【身体障害者の障害の種類別】								
視覚障害	7.5	1.3	2.5	3.8	3.8	0.0	1.3	11.3
聴覚又は平衡機能の障害	7.5	5.6	3.7	6.5	3.7	0.9	10.3	3.7
上肢・下肢・体幹機能障害	6.0	1.9	2.8	1.6	1.3	2.0	5.8	6.8
音声、言語、そしゃく機能障害	3.3	0.0	4.9	6.6	1.6	0.0	6.6	8.2
呼吸器機能障害	4.7	4.7	1.6	1.6	0.0	3.1	6.3	4.7
心臓機能障害	3.0	0.8	2.6	1.5	1.1	2.3	6.4	5.7
ぼうこう又は直腸機能障害	2.0	0.0	7.8	2.0	0.0	2.0	9.8	15.7
じん臓機能障害	1.0	3.8	2.9	0.0	0.0	1.9	6.7	2.9
小腸機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
免疫機能障害	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	5.3	0.0	1.3	4.0	0.0	3.3	3.3	8.6

問 17 現在の困った時の相談体制について、あなたはどのように感じていますか。（複数回答）

全体では、「満足している」31.8%が最も多く、以下「わからない」19.7%、「気軽に相談できる場や人がいないので不満である」18.5%、「近所に相談の場や人がいないので不満である」8.4%、「夜間・休日に相談できる場や人がいないので不満である」7.7%と続いている。

障害の種類別でみると、精神障害者では「気軽に相談できる場や人がいないので不満である」32.2%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、聴覚又は平衡機能の障害では「気軽に相談できる場や人がいないので不満である」27.1%が比較的多くなっている。

（単位：％）

	全体（人）	満足している	気軽に相談できる場や人がいないので不満である	近所に相談の場や人がいないので不満である	夜間・休日に相談できる場や人がいないので不満である	その他	わからない	無回答
全体	2000	31.8	18.5	8.4	7.7	3.9	19.7	19.4
【所持している手帳の種類】								
身体障害者手帳	1543	32.5	16.3	7.5	6.1	4.3	18.3	22.0
療育手帳	262	29.8	21.8	7.6	8.8	0.8	26.0	14.9
精神障害者保健福祉手帳	230	27.8	32.2	14.8	17.4	3.9	20.0	7.4
無回答	48	20.8	14.6	8.3	8.3	0.0	35.4	20.8
【身体障害者の障害の種類別】								
視覚障害	80	26.3	21.3	10.0	6.3	3.8	16.3	27.5
聴覚又は平衡機能の障害	107	25.2	27.1	10.3	10.3	5.6	19.6	15.0
上肢・下肢・体幹機能障害	796	32.2	17.7	7.5	7.0	4.4	18.2	21.5
音声、言語、そしゃく機能障害	61	37.7	16.4	11.5	8.2	0.0	16.4	14.8
呼吸器機能障害	64	29.7	18.8	7.8	4.7	4.7	29.7	15.6
心臓機能障害	265	37.0	12.8	6.8	6.0	3.4	15.8	24.2
ぼうこう又は直腸機能障害	51	25.5	23.5	5.9	7.8	5.9	11.8	27.5
じん臓機能障害	104	33.7	15.4	4.8	5.8	5.8	15.4	21.2
小腸機能障害	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
免疫機能障害	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
無回答	151	28.5	10.6	9.3	4.6	6.6	16.6	28.5

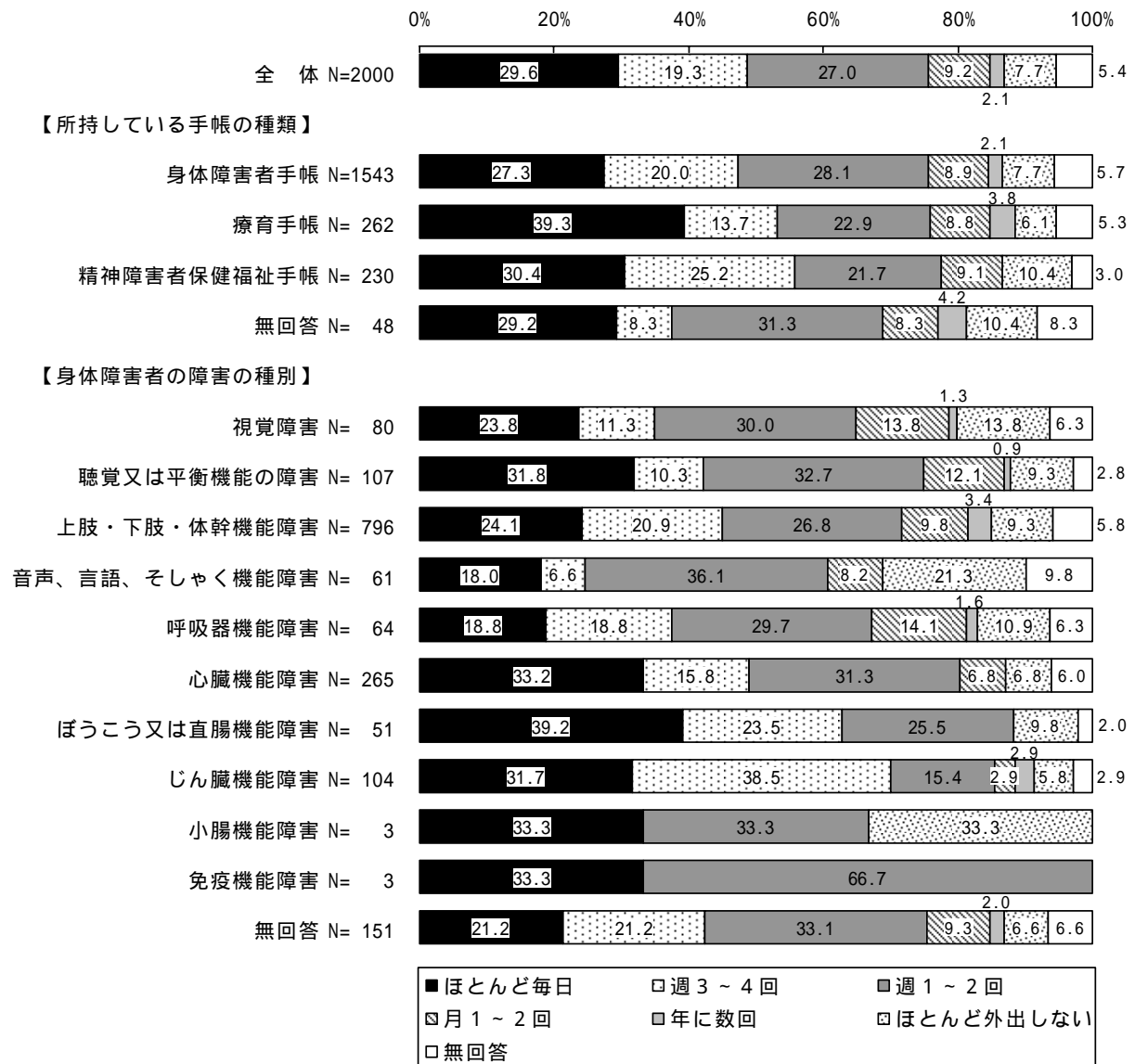
(9) 外出について

問 18 あなたは、普段どのくらい外出しますか。

全体では、「ほとんど毎日」29.6%が最も多く、以下「週1～2回」27.0%、「週3～4回」19.3%、「月1～2回」9.2%、「ほとんど外出しない」7.7%、「年に数回」2.1%となっている。

障害の種類別でみると、精神障害者では「ほとんど外出しない」10.4%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、音声、言語、そしゃく機能障害では「ほとんど外出しない」21.3%が比較的多くなっている。



問 19 外出の際に困ったり、不便に感じることはありますか。（複数回答）

全体では、「とくに困ったり不便に感じない」31.4%が最も多く、以下「道路、建物の段差や、電車、バスなどの乗り降りが大変である」21.5%、「障害のある人に配慮した設備が不十分である」16.8%、「バス代、電車代など金銭面のこと」12.8%、「障害者用トイレが少ない」12.6%と続いている。

障害の種類別でみると、身体障害者では「障害のある人に配慮した設備が不十分である」、知的障害者では「必要なときに、まわりの人の手助け・配慮がたりない」や「付き添ってくれる人がいない」、「商店や銀行などでコミュニケーションがとりにくい」など、精神障害者では「バス代、電車代など金銭面のこと」や「商店や銀行などでコミュニケーションがとりにくい」が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、視覚障害では「通路上に自転車や看板などの障害物があって通りにくい」、聴覚又は平衡機能の障害では「商店や銀行などでコミュニケーションがとりにくい」、ぼうこう又は直腸機能障害では「障害者用トイレが少ない」が比較的多くなっている。

（単位：％）

	全体（人）	道路、建物の段差や、電車、バスなどの乗り降りが大変である	障害のある人に配慮した設備が不十分である	バス代、電車代など金銭面のこと	障害者用トイレが少ない	気軽に利用できない移送手段が少ない	必要なときに、まわりの人の手助け・配慮がたりない
全体	2000	21.5	16.8	12.8	12.6	11.2	7.7
【所持している手帳の種類】							
身体障害者手帳	1543	25.0	20.6	8.5	14.7	11.7	6.1
療育手帳	262	14.1	8.0	17.9	9.9	11.1	17.9
精神障害者保健福祉手帳	230	7.0	4.8	36.5	3.0	7.4	10.0
無回答	48	12.5	4.2	8.3	6.3	6.3	8.3
【身体障害者の障害の種類別】							
視覚障害	80	37.5	18.8	10.0	10.0	18.8	15.0
聴覚又は平衡機能の障害	107	13.1	19.6	8.4	9.3	12.1	8.4
上肢・下肢・体幹機能障害	796	32.2	27.5	8.8	21.2	14.6	7.0
音声、言語、そしゃく機能障害	61	16.4	14.8	8.2	11.5	14.8	3.3
呼吸器機能障害	64	18.8	20.3	3.1	9.4	6.3	1.6
心臓機能障害	265	14.7	15.8	6.4	3.4	9.8	3.8
ぼうこう又は直腸機能障害	51	7.8	11.8	7.8	35.3	9.8	3.9
じん臓機能障害	104	18.3	11.5	8.7	4.8	9.6	6.7
小腸機能障害	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
免疫機能障害	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	151	25.8	9.9	11.3	10.6	9.9	4.0

	付き添ってくれる人がいない	通路上に自転車や看板などの障害物がある	商店や銀行などでコミュニケーションがとりにくい	点字ブロックが少ない	その他	とくに困ったり不便に感じない	無回答
全体	7.3	7.1	6.1	0.9	4.5	31.4	14.1
【所持している手帳の種類】							
身体障害者手帳	5.6	8.2	4.5	0.7	4.0	31.4	14.5
療育手帳	15.6	4.2	12.6	0.8	5.7	28.6	15.3
精神障害者保健福祉手帳	10.4	3.0	12.2	1.3	7.0	30.0	10.0
無回答	14.6	6.3	6.3	2.1	2.1	33.3	25.0
【身体障害者の障害の種類別】							
視覚障害	8.8	31.3	16.3	7.5	7.5	15.0	20.0
聴覚又は平衡機能の障害	7.5	7.5	22.4	0.9	5.6	28.0	11.2
上肢・下肢・体幹機能障害	6.9	8.3	3.5	0.3	4.9	23.4	12.6
音声、言語、そしゃく機能障害	9.8	11.5	11.5	0.0	6.6	21.3	21.3
呼吸器機能障害	6.3	7.8	1.6	0.0	1.6	43.8	15.6
心臓機能障害	5.3	4.2	1.5	0.8	1.9	49.1	14.0
ぼうこう又は直腸機能障害	3.9	3.9	2.0	0.0	3.9	33.3	15.7
じん臓機能障害	5.8	6.7	2.9	0.0	3.8	38.5	23.1
小腸機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
免疫機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
無回答	5.3	7.9	2.0	0.0	4.0	29.8	20.5

(10) 地域とのかかわりについて

問 20 あなたは、ふだん地域の人とどのようなおつきあいをしていますか。(複数回答)

全体では、「会った時はあいさつをする」72.0%が最も多く、以下「世間話をする」36.2%、「友人と遊ぶ」23.3%、「自治会などの地域の活動をする」14.5%、「つきあいはしていない」14.0%、「地域のサークルで趣味やスポーツの活動を一緒にする」10.3%と続いている。

障害の種類別で見ると、知的障害者と精神障害者では「つきあいはしていない」が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、聴覚又は平衡機能の障害では「友人と遊ぶ」34.6%、音声、言語、そしゃく機能障害では「つきあいはしていない」21.3%、心臓機能障害では「自治会などの地域の活動をする」25.7%が比較的多くなっている。

(単位：%)

	全体(人)	会った時はあいさつをする	世間話をする	友人と遊ぶ	自治会などの地域の活動をする	地域のサークルで趣味やスポーツの活動を一緒にする	盆踊りや祭などのイベントを一緒に楽しむ	学校や職場の行事に参加する	その他	つきあいはしていない	無回答
全体	2000	72.0	36.2	23.3	14.5	10.3	9.1	7.5	1.6	14.0	5.4
【所持している手帳の種類】											
身体障害者手帳	1543	74.8	42.2	24.6	17.1	12.2	8.7	5.6	1.6	11.4	5.4
療育手帳	262	55.7	8.8	15.6	5.0	3.8	11.8	21.4	0.8	24.4	6.5
精神障害者保健福祉手帳	230	68.3	21.7	23.9	7.0	3.5	4.8	6.1	3.5	23.9	3.0
無回答	48	58.3	20.8	10.4	8.3	12.5	18.8	2.1	0.0	16.7	14.6
【身体障害者の障害の種類別】											
視覚障害	80	70.0	37.5	20.0	10.0	8.8	6.3	3.8	3.8	13.8	8.8
聴覚又は平衡機能の障害	107	75.7	32.7	34.6	22.4	13.1	11.2	12.1	1.9	10.3	3.7
上肢・下肢・体幹機能障害	796	73.2	44.5	24.1	14.4	11.3	7.7	6.8	1.9	13.8	5.5
音声、言語、そしゃく機能障害	61	49.2	21.3	19.7	4.9	4.9	1.6	0.0	3.3	21.3	16.4
呼吸器機能障害	64	75.0	34.4	14.1	9.4	10.9	9.4	6.3	0.0	14.1	7.8
心臓機能障害	265	78.5	41.9	25.3	25.7	16.2	9.4	3.4	0.4	7.9	4.9
ぼうこう又は直腸機能障害	51	78.4	39.2	29.4	23.5	17.6	11.8	2.0	3.9	9.8	5.9
じん臓機能障害	104	76.9	43.3	17.3	15.4	4.8	6.7	2.9	0.0	12.5	2.9
小腸機能障害	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
免疫機能障害	3	100.0	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	151	72.8	41.7	21.9	15.2	11.9	11.3	3.3	0.7	10.6	4.6

問 21 あなたが地域活動に参加する場合、問題となることは何ですか。（主なもの3つまで）

全体では、「健康や体力に自信がない」30.5%が最も多く、以下「移動が大変である」19.7%、「気軽に参加できる活動が少ない」15.7%、「参加したくなるようなものがない」13.0%、「問題となることはとくにない」12.5%、「障害のある人に対する理解がない（偏見がある）」12.0%と続いている。

障害の種類別でみると、知的障害者と精神障害者では「障害のある人に対する理解がない（偏見がある）」、「どのような活動が行われているか知らない」が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、視覚障害では「移動が大変である」、呼吸器機能障害やじん臓機能障害では「健康や体力に自信がない」が比較的多くなっている。

（単位：％）

	全体 (人)	健康や 体力に 自信 がない	移動が 大変で ある	気軽 に参 加で きる 活 動が 少 な い	参 加 し た く ら い な い よ う な も の が な い	障 害 の あ る 人 に 対 す る 理 解 が な い (偏 見 が あ る)	ど の よ う な 活 動 が 行 わ れ て い る か 知 ら な い	家 庭 の 事 情 (病 人 、 事 務 等) が あ る
全体	2000	30.5	19.7	15.7	13.0	12.0	10.8	8.5
【所持している手帳の種類】								
身体障害者手帳	1543	34.3	22.4	14.2	11.1	8.4	8.4	9.4
療育手帳	262	10.3	13.7	24.0	17.9	25.6	19.5	7.3
精神障害者保健福祉手帳	230	27.4	10.9	20.0	18.3	23.9	19.6	4.8
無回答	48	18.8	12.5	10.4	14.6	6.3	6.3	0.0
【身体障害者の障害の種類別】								
視覚障害	80	31.3	37.5	12.5	6.3	12.5	8.8	12.5
聴覚又は平衡機能の障害	107	25.2	16.8	13.1	13.1	17.8	9.3	14.0
上肢・下肢・体幹機能障害	796	33.8	29.8	17.5	10.8	9.7	8.8	9.7
音声、言語、そしゃく機能障害	61	21.3	19.7	13.1	16.4	18.0	4.9	8.2
呼吸器機能障害	64	53.1	20.3	12.5	15.6	3.1	7.8	6.3
心臓機能障害	265	40.0	10.9	9.4	12.1	3.4	7.9	7.5
ぼうこう又は直腸機能障害	51	23.5	13.7	17.6	17.6	15.7	7.8	15.7
じん臓機能障害	104	51.0	17.3	13.5	10.6	8.7	9.6	8.7
小腸機能障害	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
免疫機能障害	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
無回答	151	27.2	16.6	9.9	6.0	6.6	6.6	6.6

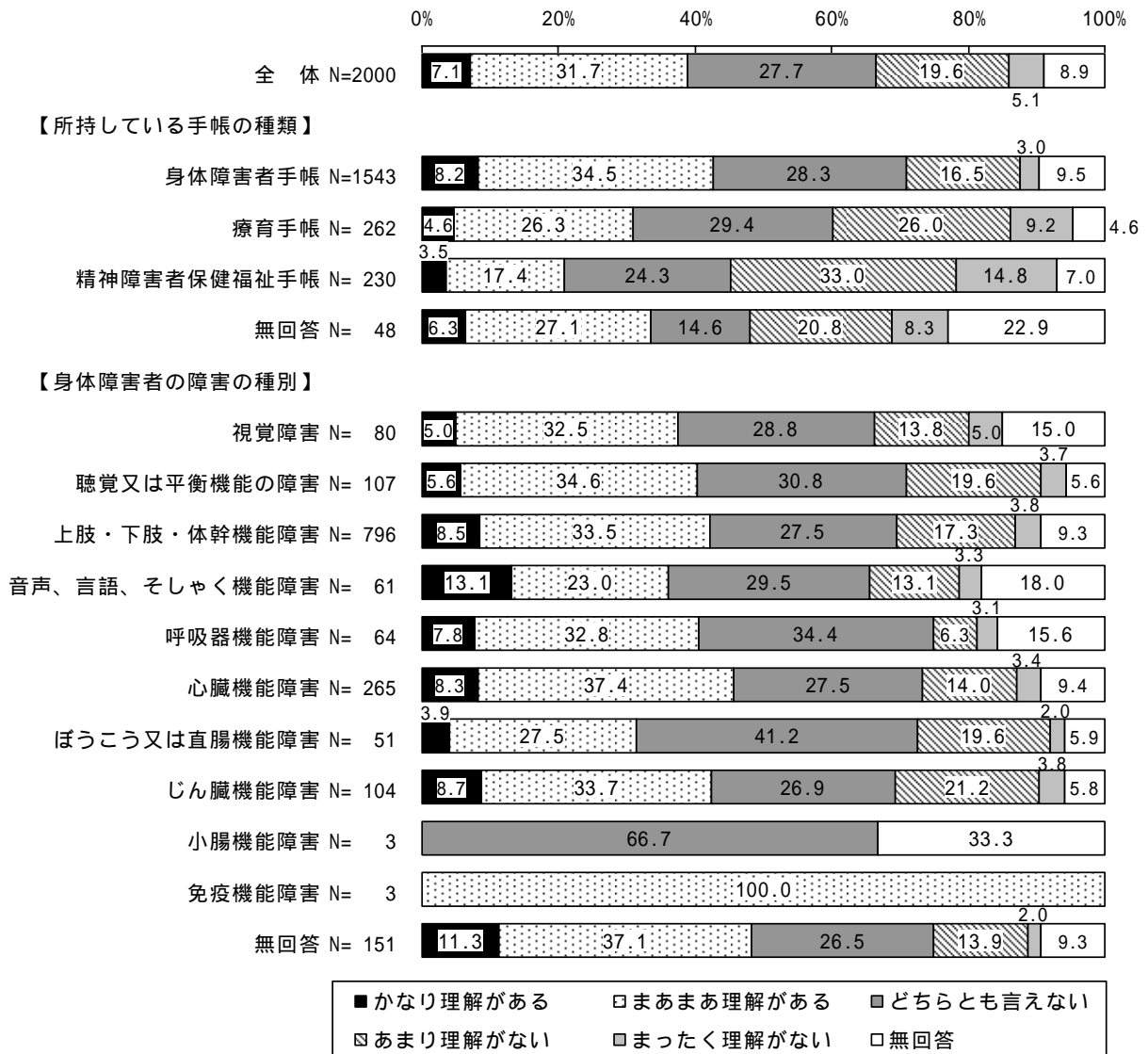
	活 動 に 必 要 な 技 術 が な い	活 動 場 所 が 近 く に な い	費 用 や 手 間 が か か り す ぎ る	過 去 に 参 加 し た が 期 待 は ず れ だ つ た	そ の 他	問 題 と な る こ と は と く に な い	地 域 活 動 に は 興 味 が な い	無 回 答
全体	5.7	5.7	3.8	1.6	3.1	12.5	5.4	13.5
【所持している手帳の種類】								
身体障害者手帳	5.0	5.6	2.9	1.3	2.5	14.1	4.4	13.8
療育手帳	8.0	6.9	4.6	0.8	5.0	6.9	8.0	13.0
精神障害者保健福祉手帳	8.7	5.2	9.1	3.5	5.7	7.0	9.1	9.1
無回答	6.3	4.2	4.2	2.1	2.1	8.3	14.6	27.1
【身体障害者の障害の種類別】								
視覚障害	6.3	5.0	2.5	1.3	1.3	12.5	6.3	13.8
聴覚又は平衡機能の障害	3.7	6.5	2.8	2.8	3.7	14.0	6.5	8.4
上肢・下肢・体幹機能障害	5.7	6.4	3.3	1.1	2.4	10.1	4.6	13.3
音声、言語、そしゃく機能障害	4.9	1.6	0.0	1.6	1.6	8.2	11.5	19.7
呼吸器機能障害	6.3	4.7	0.0	0.0	6.3	6.3	3.1	17.2
心臓機能障害	3.0	4.5	2.6	2.6	1.5	21.5	3.0	14.0
ぼうこう又は直腸機能障害	2.0	3.9	3.9	0.0	3.9	21.6	3.9	11.8
じん臓機能障害	4.8	1.9	1.9	1.0	1.9	9.6	4.8	12.5
小腸機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
免疫機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
無回答	3.3	7.9	2.6	1.3	3.3	18.5	4.0	19.9

問 22 障害のある人に対する市民の理解についてどのように感じていますか。

全体では、「まあまあ理解がある」31.7%が最も多く、以下「どちらとも言えない」27.7%、「あまり理解がない」19.6%、「かなり理解がある」7.1%、「まったく理解がない」5.1%となっている。

障害の種類別でみると、精神障害者では「あまり理解がない」と「まったく理解がない」をあわせると47.8%となっている。

身体障害者の障害種類別にみると、音声、言語、そしゃく機能障害では「かなり理解がある」13.1%が比較的多くなっている。

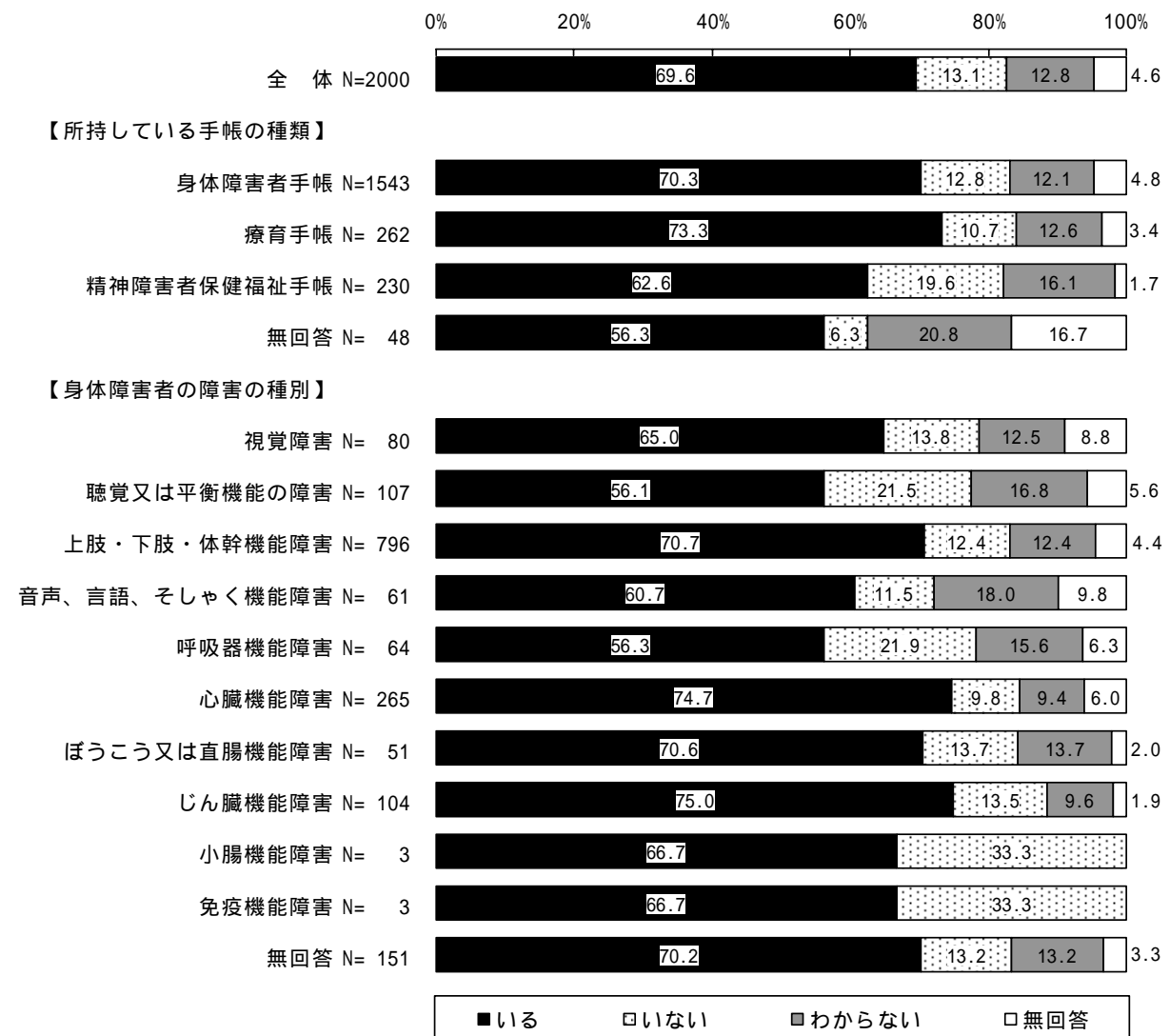


問 23 あなたには、急病などの緊急時や地震や台風などの災害時に手助けをしてくれる人が身近にいますか。

全体では、「いる」69.6%、「いない」13.1%、「わからない」12.8%となっている。

障害の種類別でみると、精神障害者では「いない」19.6%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、聴覚又は平衡機能の障害と呼吸器機能障害では「いない」が2割以上となっている。



問 24 あなたは災害時を想定した場合、どのような不安がありますか。（複数回答）

全体では、「自力で避難できるかどうか不安」45.3%が最も多く、以下「避難所の設備について、不便がないか不安」31.9%、「どんな行動をとったらよいか、わからないのが不安」28.4%、「避難生活において、団体生活ができるか不安」21.8%と続いている。

障害の種類別にみると、知的障害者では「どんな行動をとったらよいか、わからないのが不安」、「避難生活において、介助者や協力者がいないと不安」、「避難生活において、団体生活ができるか不安」、精神障害者では「どんな行動をとったらよいか、わからないのが不安」、「避難生活において、金銭的な面で不安」、「避難生活において、団体生活ができるか不安」などが比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、視覚障害や上肢・下肢・体幹機能障害では「自力で避難できるかどうか不安」、聴覚又は平衡機能の障害では「情報を得る手段がないのが不安」、ぼうこう又は直腸機能障害では「避難所の設備について、不便がないか不安」が比較的多くなっている。

（単位：％）

	全体 (人)	自力で 避難か 不安	避難所 の設備 について 不安	どんな 行動を とらよ いか 不安	避難 生活に おいて 団体生 活にお けるか 不安	避難 生活に おいて 介助者 や協力 者がい ない 不安	避難 生活に おいて 金銭的 な面で 不安
全体	2000	45.3	31.9	28.4	21.8	21.3	20.5
【所持している手帳の種類】							
身体障害者手帳	1543	47.0	34.5	22.6	18.6	20.5	16.5
療育手帳	262	50.0	22.9	48.1	32.1	33.2	26.3
精神障害者保健福祉手帳	230	30.9	28.7	46.5	38.7	22.6	43.5
無回答	48	39.6	16.7	35.4	10.4	10.4	12.5
【身体障害者の障害の種類別】							
視覚障害	80	56.3	32.5	32.5	21.3	37.5	17.5
聴覚又は平衡機能の障害	107	42.1	15.9	24.3	18.7	23.4	15.9
上肢・下肢・体幹機能障害	796	56.2	41.8	22.0	21.0	25.3	15.5
音声、言語、そしゃく機能障害	61	39.3	16.4	16.4	23.0	19.7	19.7
呼吸器機能障害	64	48.4	29.7	25.0	21.9	21.9	17.2
心臓機能障害	265	32.5	26.8	22.6	14.3	12.8	21.5
ぼうこう又は直腸機能障害	51	25.5	56.9	13.7	21.6	15.7	11.8
じん臓機能障害	104	46.2	26.9	22.1	14.4	16.3	11.5
小腸機能障害	3	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
免疫機能障害	3	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0
無回答	151	43.7	24.5	22.5	13.9	17.2	17.9

	不安が 報 な を い 得 る が 手	安ら 避 難 所 の が わ か ら ない	不安 なく い れ こ る と 人 が し	身 寄 り が な い の が 不 安	そ の 他	無 回 答
全体	11.2	9.0	5.0	4.8	5.8	15.5
【所持している手帳の種類】						
身体障害者手帳	10.3	7.3	4.2	4.3	5.8	16.5
療育手帳	14.9	14.9	4.6	4.6	2.7	12.6
精神障害者保健福祉手帳	15.2	13.5	11.7	8.3	8.7	9.6
無回答	0.0	6.3	4.2	0.0	4.2	27.1
【身体障害者の障害の種類別】						
視覚障害	15.0	15.0	5.0	3.8	2.5	16.3
聴覚又は平衡機能の障害	27.1	12.1	7.5	5.6	8.4	13.1
上肢・下肢・体幹機能障害	7.7	6.9	4.4	4.9	5.0	12.8
音声、言語、そしゃく機能障害	13.1	13.1	6.6	1.6	3.3	21.3
呼吸器機能障害	4.7	3.1	3.1	3.1	6.3	15.6
心臓機能障害	10.9	5.3	4.2	4.2	5.7	21.5
ぼうこう又は直腸機能障害	17.6	7.8	2.0	5.9	9.8	9.8
じん臓機能障害	10.6	8.7	3.8	1.9	10.6	19.2
小腸機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
免疫機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	13.9	6.6	4.6	4.6	6.0	25.2

(11) 長野市の施策について

問 25 今後、市が取り組むべき施策として、何が重要だと思いますか。(主なもの3つまで)

全体では、「年金や手当などの所得保障」38.0%が最も多く、以下「医療費の負担軽減」31.2%、「自宅で支援を受けるホームヘルプなどの在宅福祉サービスの充実」23.9%、「入所して過ごすことのできる施設の充実」19.7%、「障害者が暮らしやすい住宅の整備」14.5%と続いている。

障害の種類別でみると、知的障害者では「グループホーム・ケアホーム等の整備・充実」、精神障害者では「年金や手当などの所得保障」や「就労するための雇用施策の充実」が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、呼吸器機能障害では「自宅で支援を受けるホームヘルプなどの在宅福祉サービスの充実」、ぼうこう又は直腸機能障害では「医療費の負担軽減」、じん臓機能障害では「年金や手当などの所得保障」が比較的多くなっている。

(単位：%)

	全体(人)	年金や手当などの所得保障	医療費の負担軽減	自宅で支援を受けるホームヘルプなどの在宅福祉サービスの充実	入所して過ごすことのできる施設の充実	障害者が暮らしやすい住宅の整備	就労するための雇用施策の充実	緊急時、災害時の対策	専門的な医療機関の充実	グループホーム等の整備・充実	日中過ごすことのできる通所施設の充実
全体	2000	38.0	31.2	23.9	19.7	14.5	12.4	11.0	10.1	10.0	9.9
【所持している手帳の種類】											
身体障害者手帳	1543	36.1	33.3	27.0	21.1	14.9	8.2	13.0	10.8	7.2	8.9
療育手帳	262	36.3	17.2	12.6	16.4	14.1	23.3	4.6	8.4	26.0	15.3
精神障害者保健福祉手帳	230	53.9	31.3	15.7	13.9	13.5	27.8	5.2	8.7	10.9	12.6
無回答	48	31.3	20.8	20.8	25.0	10.4	14.6	0.0	2.1	16.7	4.2
【身体障害者の障害の種類】											
視覚障害	80	36.3	22.5	28.8	16.3	10.0	8.8	13.8	12.5	6.3	8.8
聴覚又は平衡機能の障害	107	35.5	34.6	26.2	20.6	10.3	11.2	18.7	5.6	4.7	5.6
上肢・下肢・体幹機能障害	796	33.4	30.9	28.3	23.4	17.7	8.0	11.3	11.6	8.7	9.0
音声、言語、そしゃく機能障害	61	27.9	26.2	13.1	29.5	18.0	9.8	8.2	14.8	11.5	13.1
呼吸器機能障害	64	40.6	43.8	32.8	9.4	21.9	4.7	17.2	15.6	4.7	7.8
心臓機能障害	265	38.1	35.1	29.4	23.8	9.1	7.5	12.8	9.8	5.3	9.4
ぼうこう又は直腸機能障害	51	45.1	51.0	21.6	21.6	11.8	7.8	11.8	17.6	9.8	11.8
じん臓機能障害	104	51.0	38.5	19.2	20.2	11.5	9.6	19.2	11.5	3.8	3.8
小腸機能障害	3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
免疫機能障害	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
無回答	151	32.5	36.4	25.2	15.2	13.2	7.9	10.6	7.9	6.0	7.9

	総合的な相談や社会生活の支援を行う相談支援事業の充実	道路、交通機関、公共施設等の利用を容易にするための施策の充実	障害者への理解を深める施策の充実	外出、外出時の移動手段などの外出支援の充実	一時的な預かり制度の充実	障害のある人となりの交流促進	障害児の教育と保育の充実	障害者のスポーツ、芸術文化活動などに対する支援	障害者の情報提供支援の充実	点字図書、録音図書、手話放送、字幕放送等の提供	その他	無回答
全体	9.1	8.9	8.8	8.1	5.5	3.5	3.0	2.2	1.0	1.6	10.5	
【所持している手帳の種類】												
身体障害者手帳	7.5	9.4	6.7	8.6	5.2	2.7	2.0	1.8	1.2	1.4	11.1	
療育手帳	13.7	6.9	16.0	7.6	13.0	5.3	11.1	3.8	0.4	1.5	8.0	
精神障害者保健福祉手帳	13.0	7.8	13.9	6.1	1.7	5.7	1.3	3.0	0.4	1.7	8.3	
無回答	10.4	6.3	10.4	2.1	2.1	6.3	0.0	0.0	0.0	4.2	25.0	
【身体障害者の障害の種類】												
視覚障害	6.3	15.0	10.0	15.0	5.0	5.0	1.3	1.3	7.5	0.0	10.0	
聴覚又は平衡機能の障害	9.3	6.5	10.3	3.7	4.7	4.7	8.4	1.9	9.3	0.0	11.2	
上肢・下肢・体幹機能障害	7.9	11.4	6.8	10.7	7.2	2.5	2.1	2.5	0.0	1.5	10.2	
音声、言語、そしゃく機能障害	9.8	3.3	11.5	6.6	3.3	6.6	1.6	1.6	0.0	4.9	16.4	
呼吸器機能障害	9.4	6.3	6.3	3.1	4.7	0.0	1.6	1.6	0.0	3.1	10.9	
心臓機能障害	9.4	5.7	6.0	4.5	5.7	1.9	0.8	0.4	0.0	0.8	11.3	
ぼうこう又は直腸機能障害	7.8	5.9	5.9	2.0	5.9	5.9	2.0	0.0	0.0	0.0	7.8	
じん臓機能障害	4.8	5.8	4.8	8.7	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	10.6	
小腸機能障害	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	
免疫機能障害	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	5.3	6.0	6.6	8.6	0.7	3.3	0.7	2.0	1.3	2.6	18.5	

問 26 施設や病院での訓練や治療について、あなたが希望することはどんなことですか。
(複数回答)

全体では、「とくにない」24.8%が最も多く、以下「入所支援施設を増やしてほしい」22.5%、「送迎をしてほしい」22.2%、「訓練や治療をする専門職員を増やしてほしい」21.5%、「通所訓練施設を増やしてほしい」16.9%と続いている。

障害の種類別で見ると、知的障害者と精神障害者では「通所訓練施設を増やしてほしい」が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、視覚障害とじん臓機能障害では「送迎をしてほしい」、音声、言語、そしゃく機能障害では「訓練や治療をする専門職員を増やしてほしい」、呼吸器機能障害では「入所支援施設を増やしてほしい」が比較的多くなっている。

(単位：%)

	全体(人)	入所支援施設を増やしてほしい	送迎をしてほしい	訓練や治療をする専門職員を増やしてほしい	通所訓練施設を増やしてほしい	訪問による訓練サービスを充実してほしい	訓練内容、回数等を充実してほしい	訓練機器等を充実してほしい	その他	とくにない	無回答
全体	2000	22.5	22.2	21.5	16.9	10.4	10.3	7.1	1.8	24.8	18.8
【所持している手帳の種類】											
身体障害者手帳	1543	22.9	22.9	20.8	14.6	10.4	9.7	7.5	1.4	24.3	20.3
療育手帳	262	22.1	24.8	25.2	24.4	9.9	13.4	5.3	2.7	26.7	13.4
精神障害者保健福祉手帳	230	20.4	19.6	23.9	25.2	13.5	10.9	7.0	4.3	22.2	12.6
無回答	48	22.9	10.4	14.6	12.5	8.3	10.4	8.3	2.1	25.0	31.3
【身体障害者の障害の種類別】											
視覚障害	80	21.3	28.8	22.5	15.0	11.3	8.8	16.3	0.0	21.3	26.3
聴覚又は平衡機能の障害	107	25.2	16.8	20.6	9.3	12.1	6.5	6.5	1.9	30.8	15.9
上肢・下肢・体幹機能障害	796	24.4	23.7	25.1	19.8	12.6	14.3	8.8	1.9	18.6	18.5
音声、言語、そしゃく機能障害	61	29.5	14.8	31.1	21.3	8.2	18.0	11.5	0.0	16.4	21.3
呼吸器機能障害	64	31.3	17.2	23.4	10.9	6.3	7.8	7.8	0.0	28.1	21.9
心臓機能障害	265	23.0	22.3	14.7	13.6	9.8	7.2	5.7	1.1	31.7	18.9
ぼうこう又は直腸機能障害	51	23.5	9.8	19.6	3.9	5.9	2.0	2.0	2.0	39.2	25.5
じん臓機能障害	104	14.4	28.8	10.6	1.9	5.8	1.0	2.9	0.0	30.8	26.0
小腸機能障害	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
免疫機能障害	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
無回答	151	20.5	23.2	15.9	11.3	6.0	4.6	4.0	1.3	20.5	30.5

問 27 通所サービスについて、あなたはどのような希望をお持ちですか。（複数回答）

全体では、「仲間づくりや交流・情報交換などができること」23.3%が最も多く、以下「入浴や食事などのサービスが受けられること」21.5%、「とくにない」19.6%、「自分の身の回りのことができるように訓練が受けられること」19.5%、「創作活動など趣味や余暇活動を楽しむことができること」17.8%と続いている。

障害の種類別でみると、知的障害者では「自立した生活のための（十分な）工賃が得られること」が最も多く、以下「仲間づくりや交流・情報交換などができること」、「創作活動など趣味や余暇活動を楽しむことができること」、「職業に結びつく技術などを身につけられること」が比較的多くなっている。精神障害者では「自立した生活のための（十分な）工賃が得られること」、「集団への適応や社会復帰のための訓練が受けられること」、「仲間づくりや交流・情報交換などができること」、「専門的な相談が受けられること」、「職業に結びつく技術などを身につけられること」が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、上肢・下肢・体幹機能障害や音声、言語、そしゃく機能障害では「入浴や食事などのサービスが受けられること」が比較的多くなっている。

（単位：％）

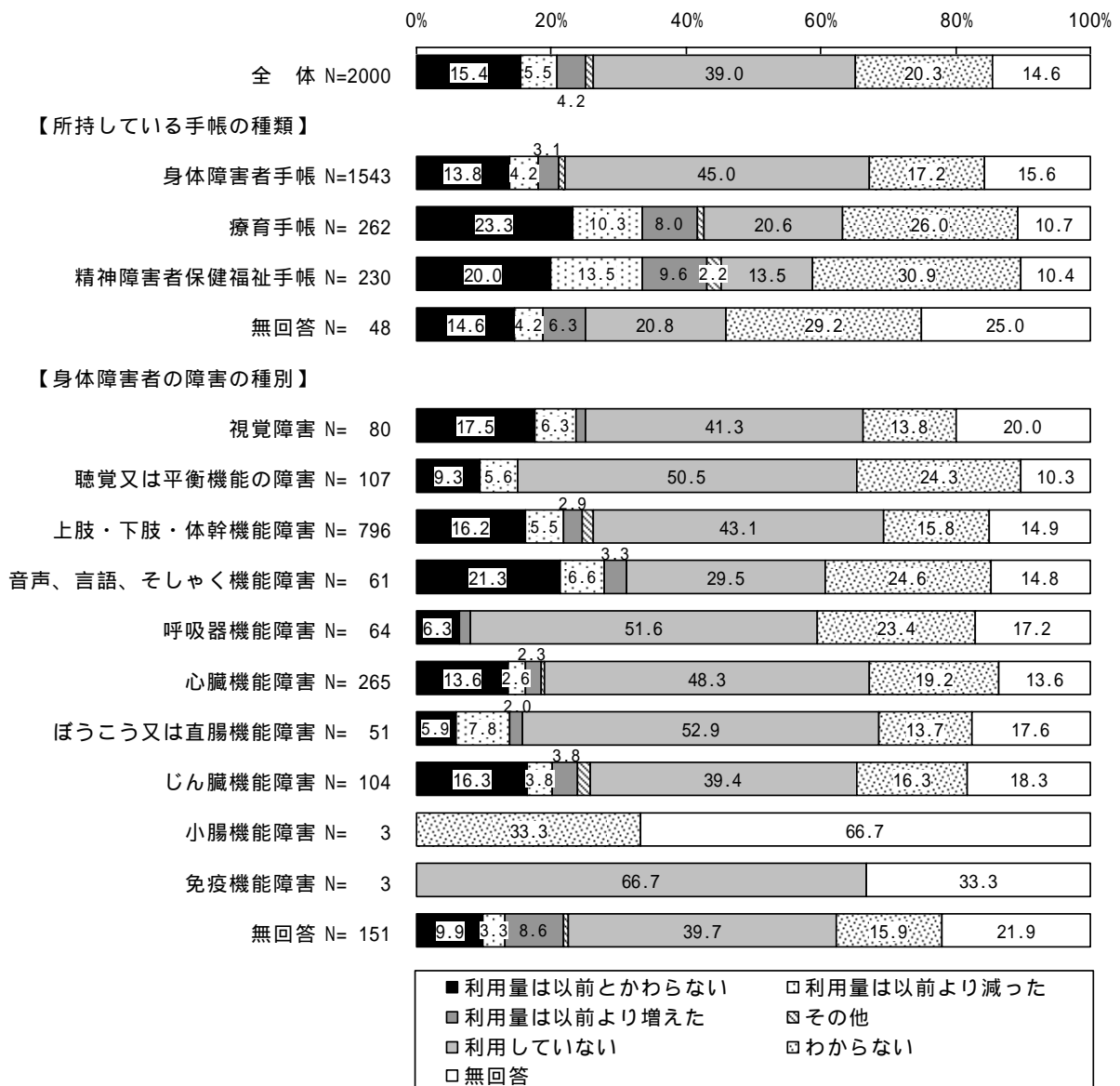
	全体（人）	仲間づくりや交流・情報交換などができること	入浴や食事などのサービスが受けられること	自分の身の回りのことができるように訓練が受けられること	創作活動など趣味や余暇活動を楽しむことができること	専門的な相談が受けられること	自立した生活のための（十分な）工賃が得られること	集団への適応や社会復帰のための訓練が受けられること	職業に結びつく技術などを身につけられること	その他	とくにない	無回答
全体	2000	23.3	21.5	19.5	17.8	16.9	16.1	12.1	11.1	1.8	19.6	20.4
【所持している手帳の種類】												
身体障害者手帳	1543	20.5	23.3	18.9	16.7	14.5	9.7	7.1	6.0	1.7	21.9	22.1
療育手帳	262	33.2	16.0	22.9	27.1	19.5	35.5	20.6	25.6	2.3	12.2	14.9
精神障害者保健福祉手帳	230	33.0	18.3	17.4	18.7	33.5	39.6	35.7	30.0	2.6	10.0	13.9
無回答	48	20.8	20.8	27.1	14.6	14.6	14.6	16.7	12.5	0.0	16.7	29.2
【身体障害者の障害の種類】												
視覚障害	80	18.8	22.5	15.0	17.5	11.3	12.5	6.3	5.0	1.3	25.0	23.8
聴覚又は平衡機能の障害	107	26.2	18.7	13.1	21.5	10.3	14.0	7.5	7.5	3.7	28.0	15.9
上肢・下肢・体幹機能障害	796	22.0	27.5	22.1	18.6	17.1	9.0	7.7	5.9	1.8	18.2	21.2
音声、言語、そしゃく機能障害	61	16.4	27.9	19.7	19.7	16.4	13.1	9.8	6.6	1.6	14.8	19.7
呼吸器機能障害	64	12.5	25.0	14.1	18.8	12.5	7.8	10.9	10.9	1.6	18.8	25.0
心臓機能障害	265	21.1	21.5	20.0	17.7	13.2	9.8	9.1	5.3	1.1	25.3	18.5
ぼうこう又は直腸機能障害	51	15.7	19.6	17.6	19.6	7.8	7.8	5.9	0.0	0.0	29.4	21.6
じん臓機能障害	104	19.2	13.5	5.8	6.7	13.5	6.7	1.0	1.9	0.0	26.9	36.5
小腸機能障害	3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
免疫機能障害	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
無回答	151	15.2	23.2	17.9	10.6	10.6	9.9	6.6	6.6	3.3	19.2	27.8

問 28 平成 18 年から障害者自立支援法が施行され、サービス利用者は利用量に応じた負担をすることになりました。それに伴いあなたのサービス利用量は変わりましたか。

全体では、「利用していない」39.0%が最も多く、以下「わからない」20.3%、「利用量は以前とかわらない」15.4%、「利用量は以前より減った」5.5%、「利用量は以前より増えた」4.2%、「その他」1.2%となっている。

障害の種類別で見ると、知的障害者と精神障害者では「利用量は以前より減った」が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、聴覚又は平衡機能の障害や呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸機能障害では「利用していない」が半数以上となっている。



問 29 平成 18 年に『バリアフリー新法』が施行され、公共交通機関、建築物等の生活環境のバリアフリー化において次の事項を推進しています。知っているものに○をつけてください。
(複数回答)

全体では、「知らなかった」57.6%が最も多く、以下「生活空間の総合的なバリアフリー化を推進している」15.4%、「すべての障害(3障害)のある人が対象になった」11.2%、「いわゆる「心のバリアフリー」を国民の責務としている」6.2%、「市町村が重点整備地区に、駅がない地区も指定できる」2.7%となっている。

障害の種類別でみると、精神障害者では「知らなかった」が7割となっている。

身体障害者の障害種類別にみると、音声、言語、そしゃく機能障害では「生活空間の総合的なバリアフリー化を推進している」21.3%、「すべての障害(3障害)のある人が対象になった」16.4%が比較的多くなっている。

(単位：%)

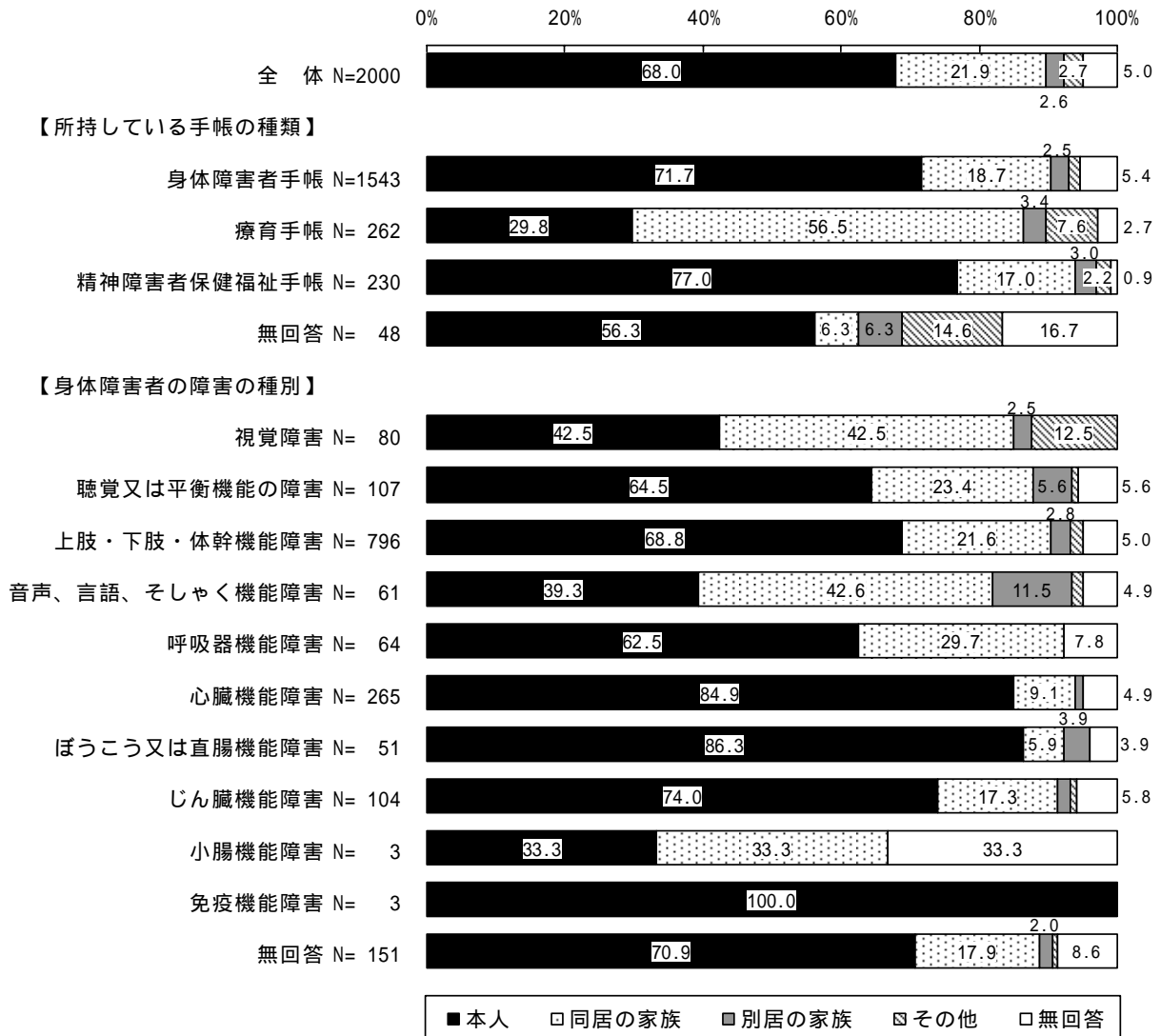
	全体(人)	生活空間の総合的なバリアフリー化を推進している	すべての障害(3障害)のある人が対象になった	いわゆる「心のバリアフリー」を国民の責務としている	市町村が重点整備地区に、駅がない地区も指定できる	知らなかった	無回答
全体	2000	15.4	11.2	6.2	2.7	57.6	19.6
【所持している手帳の種類】							
身体障害者手帳	1543	16.8	11.6	5.7	3.0	54.7	21.5
療育手帳	262	13.4	12.6	8.4	1.9	62.6	13.4
精神障害者保健福祉手帳	230	7.4	9.6	7.8	0.9	70.0	12.6
無回答	48	8.3	2.1	2.1	2.1	52.1	37.5
【身体障害者の障害の種類別】							
視覚障害	80	15.0	15.0	7.5	3.8	50.0	26.3
聴覚又は平衡機能の障害	107	20.6	10.3	7.5	3.7	57.0	17.8
上肢・下肢・体幹機能障害	796	17.3	12.1	5.4	2.5	54.8	20.9
音声、言語、そしゃく機能障害	61	21.3	16.4	4.9	1.6	52.5	19.7
呼吸器機能障害	64	18.8	14.1	7.8	1.6	53.1	20.3
心臓機能障害	265	18.5	13.6	6.0	2.6	54.3	20.0
ぼうこう又は直腸機能障害	51	15.7	7.8	5.9	2.0	52.9	23.5
じん臓機能障害	104	11.5	9.6	2.9	3.8	58.7	21.2
小腸機能障害	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
免疫機能障害	3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
無回答	151	11.3	12.6	6.0	6.0	47.0	30.5

問 30 この調査票の記入者はどなたですか。

全体では、「本人」68.0%が最も多く、以下「同居の家族」21.9%、「その他」2.7%、「別居の家族」2.6%となっている。

障害の種類別で見ると、知的障害者では「同居の家族」56.5%が比較的多くなっている。

身体障害者の障害種類別にみると、視覚障害や音声、言語、そしゃく機能障害では「本人」以外が比較的多くなっている。



(12) 自由意見

問 31 (自由回答) 何かお困りのこと、ご意見・ご要望、より自立した生活を送るために必要なものなどのご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

施策の方向性	件数	主な意見
1 権利・理解の促進	87	
(1) 理解の促進	54	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの人に障害や病気の事を理解してほしい。 ・内部障害の事をもっと認識してほしい。 ・障害者用駐車場に一般の車が駐車している事がある。 ・地区の役が当番で回ってきても、障害のため出来ないのを免除してほしい。 ・障害のある人とない人との交流の場を設けてほしい。
(2) 権利擁護	17	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者用駐車場に一般の車は駐車しないように指導してほしい。 ・見た目で見分けがつかないと、障害者用駐車場に駐車しにくい。 ・障害者という理由で、雇用してもらえない。 ・民生委員にプライバシーを守ってもらいたい。 ・手続きなどを代理でやってくれる人が必要。 ・障害者の権利・人権が守られる条例を制定してほしい。
(3) 障害者差別禁止の促進	16	<ul style="list-style-type: none"> ・周りから偏見・差別的な目で見られている。 ・近所の人々が偏見で陰口などを言うため、何も相談できない。 ・悪口を言いふらされる。 ・障害者として雇用されたが、職場に理解や知識がなく嫌な思いをした。
2 相談・福祉サービス	171	
(1) 相談支援体制の促進	41	<ul style="list-style-type: none"> ・困った時に、どこに相談していいのかわからない。 ・支援員や相談員、相談窓口を増やしてほしい。 ・気軽に相談できる相手がほしい。 ・家族以外で将来サポートしてくれる人等の相談をしたい。 ・相談しても聞くだけで、これといった対処が得られない。 ・民生委員に定期的に訪問してほしい。 ・民生委員の人選が悪く、相談できない。
(2) 福祉サービスの充実	69	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー券をもっと出してほしい(枚数・使用限度) ・支援者もタクシー券を使えるようにしてほしい。 ・精神障害でも交通費の割引をしてほしい。 ・送迎をしてほしい。 ・家事援助をしてほしい。 ・施設を増やしてほしい。 ・自分に合った施設に入りたい。 ・土日も通所施設で預かってほしい。 ・ショートステイの受け入れ体制の充実。 ・マッサージ施設がほしい。 ・聴覚障害者用の施設をつくってほしい。 ・カウンセリング施設をつくってほしい。 ・知的の判定が違っても、同じサービスを受けられるようにしてほしい。
(3) 情報提供の促進	32	<ul style="list-style-type: none"> ・各種制度・サービスの情報が入ってこないで、困っている。 ・福祉のしおりを送ってほしい。 ・家にパソコンや携帯がないので、情報が入ってこない。 ・各機関の連携が取れていないので、情報が届かない。 ・問合せには応じてもらえるが、色々な情報を知ることができない。 ・バリアフリー新法について、市報などでPRしてほしい。 ・通知文など、わかりやすく簡単にしてほしい。 ・ペースメーカーへの電磁波の影響を周知してほしい。

施策の方向性	件数	主な意見
(4) 長野市障害者福祉ネットワークの構築促進	1	・福祉協会への手帳所持者の入会が少ない。加入促進の宣伝をしてほしい。
(5) 全年齢における保健・医療・福祉の連携と充実	17	・看護師やスタッフが不足している。 ・看護師のいる施設が少ない。 ・精神科は夜間・休日に診察してくれるところがなく、困っている。 ・病院で薬を受け取れるようにしてほしい。 ・病院を増やしてほしい。 ・治療方法の開発・研究
(6) リハビリテーションの充実	8	・歩行訓練を受けたい。 ・医療機関でのリハビリの期間に制限があり、続けられなくなった。 ・自立した生活に必要なリハビリ施設を作ってほしい。 ・自立するための機能回復に努めるような指導をお願いしたい。
(7) 当事者、市民、行政の連携	3	・民意が多様化しているが、相互の応談・歩み寄りが何よりも大切だと思う。 ・手伝いたくても関わり方が分からない人もいるので、互いに声をあげていければ良い。 ・障害児に対する自立支援も必要だが、自立をさせる親に対する教育も必要。
3 暮らしの充実	224	
(1) 経済的支援の充実	108	・障害者年金を上げてほしい。障害者年金を受け取りたい。 ・年金だけでは生活ができない。 ・働いていても工賃が低く、年金と合わせても生活費が足りない。 ・最低限の生活費を保障してほしい。 ・働けなくなった後の金銭面での援助がほしい。 ・タクシー代の補助がほしい。タクシー券を増やしてほしい。 ・送迎は料金が高いので使えない。 ・公共交通機関の割引をしてほしい。 ・国保や介護料金が健常者並みに徴収されている。 ・福祉医療費の自己負担額が増えた。 ・院外処方のため、通院1回で支払いが2度となり負担が大きい。 ・70歳になり、福祉医療が受けられなくなり負担が増えた。 ・治療費が多額にかかるため、いつまで続けられるか不安。 ・障害手帳対象外の治療になかなか行けない。 ・補聴器や義眼などの装具購入費・修理費を補助してほしい。 ・パソコンなどの講習費の補助をしてほしい。
(2) 生活支援の促進	67	・家族亡き後に生活していけるのか不安。 ・一人になった時にサポートしてくれる仕組みを作ってほしい。 ・一人になった時には施設に入りたい。 ・家事援助や除雪などをしてほしい。 ・住む場所の保障がほしい。 ・成年後見人の成り手のいない人へのケアを行政で立ち上げてほしい。 ・老老介護となり先の人生に不安を感じる。 ・障害が重くなった時に自立した生活が続けられるか不安。 ・社会保障が低下していくので、生活に不安を感じる。 ・アルツハイマーで仕事ができないが、保障がない。 ・生活保護を申請しても断られる。
(3) 家族支援の充実	11	・老老介護で介護者の体力や気力が衰えている場合、どう対処したらいいのか気がかり。 ・介護者への支援体制の確立。 ・家族の負担を軽減するような支援をしてほしい。 ・子育てをしながら介護をされていて大変なので、土日でもデイサービスを利用したい。 ・被介護者のわがまま等で、介護するのも精神的に限界になっている。 ・精神や脳障害は介護する側から言わせると本当に大変。

施策の方向性	件数	主な意見
(4) 文化活動の促進	1	・歴史・文化の成人学習講座を充実してほしい。
(5) スポーツ活動の活性化	7	・気楽にスポーツを楽しめる施設を作ってほしい。 ・障害者のスポーツを援助する制度を考えてほしい。 ・視覚障害者が気軽に楽しめるスポーツボランティアがほしい。 ・軽い運動の時、もっと楽しい音楽や民謡の振付など独自のリハビリをしたらどうか。 ・障害者ゴルフ大会等、スポーツの大会を全員に知ってもらえるようにしてほしい。
(6) 余暇活動の活性化	5	・障害者のサークルがあれば良いと思う。 ・障害者に分かりやすい料理教室を増やしてほしい。 ・生涯学習の場の内容の充実と、費用の軽減。 ・パソコンや携帯が使えるようになりたい。
(7) 日中活動の充実	10	・障害者同士の交流の機会がほしい。 ・仲間づくりをしたい。 ・誰もが気軽に集まり話せる場がほしい。 ・近所の人とのコミュニケーションがほしい。
(8) 健康づくりの促進	1	・体力づくりセンター等の施設がほしい。
(9) 全年齢における保健・医療・福祉の連携と充実	7	・40歳になっても障害者健康診断を継続してほしい。 ・医療機関と保健所、通所施設の連携が取れていない。 ・補助具を作る場所と人が足りず、壊れた時に間に合わない。 ・ストマの交換ができる看護師に常駐してほしい。 ・治らないにしても、医師からは安心できる言葉やアドバイスがほしい。
(10) 当事者、市民、行政の連携	7	・手続きが必要なことは、どの支所でもできるようにしてほしい。 ・障害のある人もない人も共に学ぶことのできる社会になってほしい。 ・障害者の親同士が気軽に話せる場がもっとほしい。
4 教育・育成	15	
(1) 保健サービス・子育て支援の充実	3	・障害を持つ親は、子どもが健常者であっても子どもへの支援を一番必要としている。 ・ソフト面の充実、早期教育・治療、母親への支援が大切だと思う。 ・障害児は集団生活で得られるものが大きいので、就労の有無を問わず入園させてほしい。 ・障害を持っていると通院や療育があり、親が仕事を持つのは難しい。
(2) 福祉サービスの充実	6	・放課後の過ごし方をもっと充実させたい。放課後預ける所が少ない。 ・医療ケアの必要な子を預かってくれる施設がない。 ・長期休みに預かってくれる施設がほしい。 ・障害児をもつ親も安心して働けるようなサービスを増やしてほしい。 ・一緒にサポートしてくれる人、受け入れられる体制・社会づくりが大切だと思う。
(3) 教育的支援の充実	6	・金銭面やみんなの力で学校を卒業できるようにバックアップしてほしい。 ・障害のある子どもでも受け入れる学校づくりをしてほしい。 ・将来の進路や就労についてとても不安を感じる。 ・地域の学校からでも放課後サポートの送迎を安くしてほしい。 ・現在通っている小学校では、比較的暖かく見守ってもらっている。
5 就労	79	
(1) 就労までの流れ	5	・就労移行センターのパソコンの期間を2年より長くしてほしい。 ・就労訓練の充実。 ・ジョブコーチ支援をちゃんとしてほしい。

施策の方向性	件数	主な意見
(2) 就労における環境整備	19	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者が働ける環境を整えてほしい。 ・ 職場の人に障害に対する理解や知識を持ってほしい。 ・ 職場の担当者が障害者に定期的に声をかけるよう、企業側に指導してほしい。 ・ 就職について、もっと気楽に相談に乗ってもらえる人が大勢いてほしい。 ・ 通所施設の工賃が安い。また、職員の給料も下げられている。 ・ 就労支援施設に補助金を出し、工賃を上げてほしい。 ・ 通所施設の職員の待遇を良くして、人材不足にならないようにしてほしい。 ・ 障害者の就労できる仕事はあるはずなので、個人的にアドバイスできる体制が必要。
(3) 日中活動の充実	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校を卒業しても行くところが少ないので、小さな通所施設を多く作ってほしい。 ・ 授産施設を充実し、自立できるようサポートしてほしい。
(4) 障害者の工賃アップ	13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工賃が低すぎる。 ・ 働く場所があってもわずかな給料では、就労に全く期待が持てない。 ・ 法律が変わってから給料が減ってしまった。 ・ 賃金も生活できる金額を確保できるようにしてほしい。
(5) 支援者のスキルアップ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理解ある支援者が増えてほしい。 ・ 福祉関係の支援者がいない。 ・ ジョブコーチの質の向上。
(6) 雇用機会の拡大	38	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働く場所がない。 ・ 就労場所や作業所を増やしてほしい。 ・ 短時間の仕事をしたい。 ・ 自分に合った仕事がしたい。 ・ 職業紹介をもっとしてほしい。 ・ 公共施設の掃除等をやらせてほしい。
6 まちづくり	101	
(1) ユニバーサルデザインの推進	52	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道の段差やデコボコが多く危険な個所が多い。 ・ 障害者用駐車スペースを増やしてほしい。 ・ 道路が狭く悪いので、車椅子で行くところが限られてしまう。 ・ 道路は車中心でなく、車椅子など歩行困難な人のことを第一に考えてほしい。 ・ 公共の場所のトイレは洋式にしてほしい。 ・ 公共のトイレを増やしてほしい。 ・ 外出先で腰かけて休めるところを増やしてほしい。 ・ 音響装置付信号機を増やしてほしい。 ・ 階段が同色だと境が分からず危険。先端の色を変える等の工夫を。 ・ 公共施設に手すりをつけてほしい。 ・ 市営・県営住宅の階段に手すりをつけてほしい。 ・ 長野駅善光寺口に下りエスカレーターを設置してほしい。 ・ 駅前にエレベーター・エスカレーターを設置してほしい。 ・ 駅周辺の歩車道の除雪をしてほしい。 ・ ノンステップバスを増やしてほしい。 ・ 知的障害者のためにも、バスに半額料金の表示をしてほしい。 ・ バスに乗りたくても、弱視力のため行き先の字が見えず困っている。 ・ プールなどに障害者用の更衣室を設置してほしい。
(2) 移動・交通手段の充実	29	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスなどの交通が悪く、本数も少ない。 ・ バスや電車の時間を増やしてほしい。 ・ バス路線を見直してほしい。 ・ グルリン号はどこでも手を上げたら乗降できるようにしてほしい。 ・ 朝だけでもグルリン号の反対周りの路線がほしい。 ・ 公共交通機関が遠い。利用しにくい。 ・ 交通手段がない。 ・ 高額でない送迎サービスを利用したい。

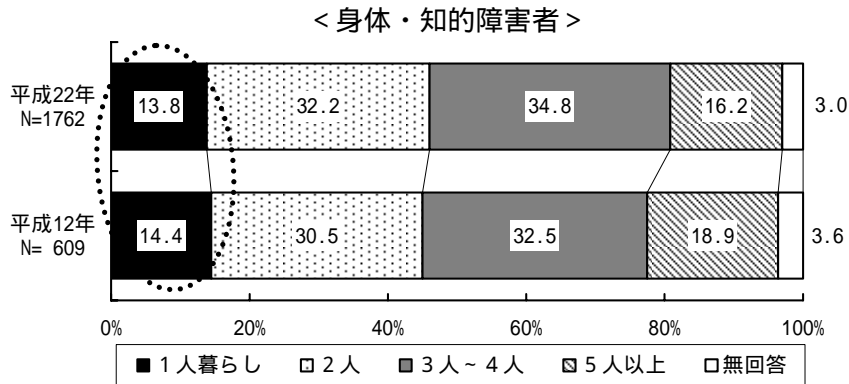
施策の方向性	件数	主な意見	
(3) 防犯・防災対策	11	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に対処するマニュアルを早く作ってほしい。 ・災害時は障害のある人（家族）だけ集まれる場所があると気兼ねしないと思う。 ・災害に関する地区の係が誰なのか、どんなことが相談できるのか分からない。 ・防災無線を取りつけてほしい。 ・寝たきりなので災害の時が一番心配。 ・身近に潜んでいる詐欺、どんな人に注意すべきか。 	
(4) 人材の育成	5	<ul style="list-style-type: none"> ・各地には行政職員も住んでいるので、地域住民への関わりを持ってほしい。 ・行政や病院の窓口での障害を理解した対応ができる職員教育をしてほしい。 ・ヘルパーの質の向上。 ・民生委員に守秘義務について教育してほしい。 	
(5) コミュニケーション支援の充実	3	<ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎や合同庁舎、県庁に手話通訳者の充実した配備をしてほしい。 ・施設で、失語症なのでコミュニケーションが取れず一人になっていないか心配。 ・アニメや映画を字幕で見られるようにしてほしい。 	
(6) 当事者、市民、行政の連携強化	1	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者も声を出し、多くの人の理解や協力を広げていけたらいいと思う。 	
その他	87		
内訳	級や制度等の見直し	26	<ul style="list-style-type: none"> ・級の見直しをしてほしい。悪化しても級が変わらない。 ・脳の病気にも保障をしてほしい。 ・耳が不自由なので、電話では市役所に問合せできない。 ・医療費の窓口での現金支払いを改善してほしい。 ・手続きや申請が煩雑なので簡略化してほしい。 ・手帳の交付までに時間がかかりすぎる。 ・自立していると障害者が感じられる状況を整備してほしい。
	アンケートについて	15	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に関係ない設問が多く、回答できないものがあつた。 ・架空の設問が多く、考えることが難しい。 ・視覚障害者へはテープや点字でアンケートを実施してほしい。 ・健常者から見た質問になっている。 ・障害者の種類や等級に合った調査票を作成してはどうか。 ・集計結果を公表してほしい。
	不安や悩み等	15	<ul style="list-style-type: none"> ・精神病の家族に対する心構えなど分からず、模索中。 ・うつ病の患者をかかえて困っている。 ・グループホームでの共同生活がうまく出来ず悩んでいる。 ・緊急の時の対応に困る。結局家族で何とかすることになる。 ・現在の医師から、次の医師に変わることへの不安。
	計画について	4	<ul style="list-style-type: none"> ・計画作成にあたっては、障害者や障害者団体の意見を尊重してほしい。 ・当事者団体と問題点や改善点を協議してほしい。 ・障害者を作成委員に加えてほしい。 ・一人ひとりの状況に合わせた施策を行ってほしい。
	その他	27	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所ではもっと丁寧な対応をしてほしい。 ・心のバリア・制度のバリア・行政区のバリアを取り払い、広く知恵を集めるべき。 ・身近な買い物ができる場所を無くさないでほしい。 ・ボランティアセンター発行の「ぼうせん」を広報ながのに組み入れてはどうか。 ・介護者が倒れた時の連絡方法がない。 ・家にもってしまふのを何か良い方法があればと思う。 ・放置自転車をなんとかしてほしい。
合計	764		

3 【参考】平成12年実施アンケート結果との比較

(1) 回答者本人のことについて

問3 あなたを含めて、あなたが一緒に住んでいる家族の人数は何人ですか。

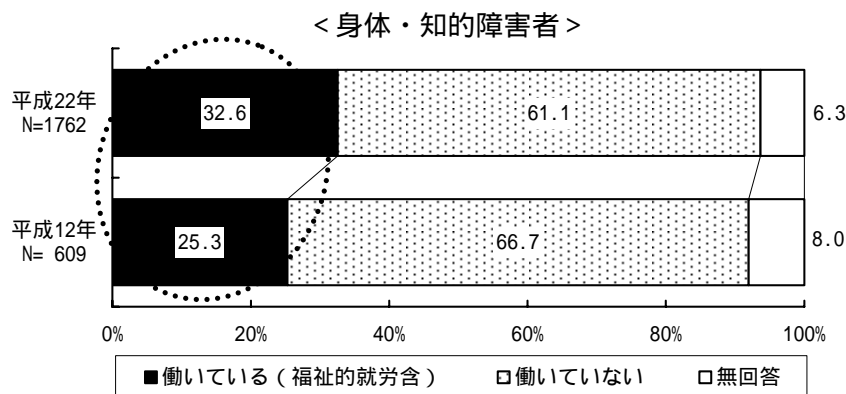
身体・知的障害者では、「1人暮らし」が13.8%で、前回同様となっている。



(2) 生活の状況について

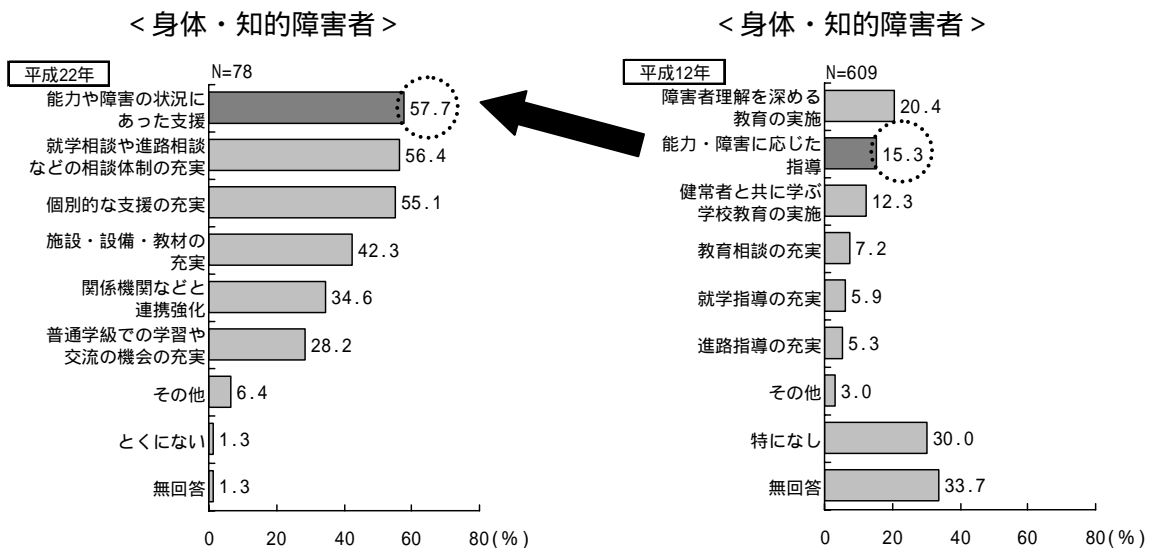
問7 現在の日中の活動状況についてお聞きします。

身体・知的障害者では、「働いている(福祉的就労含)」が今回32.6%で3人に1人の割合で、前は25.3%であるから、7ポイント増えている。



問7-1 通園・通学先に望むことはどのようなことですか。

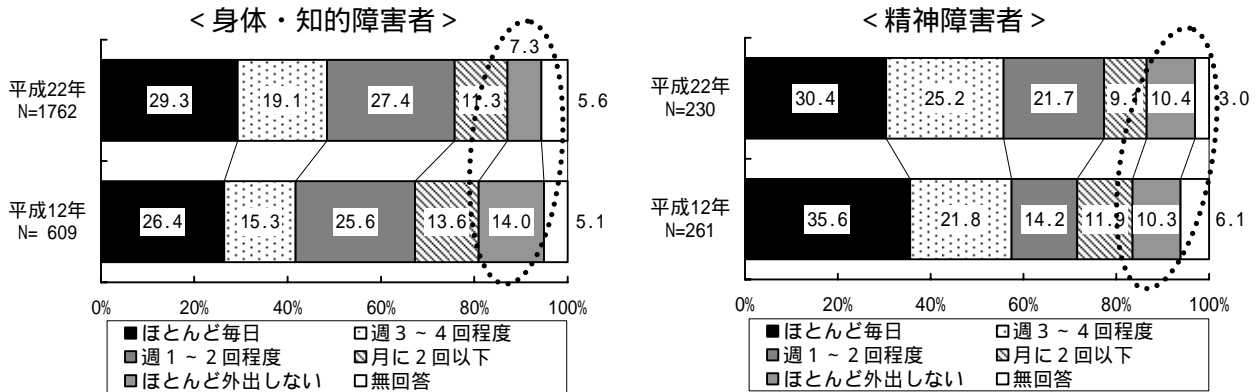
前回とは個別の要望についての比較はできないが、身体・知的障害者では、相対的に能力・障害の状況にあった支援についての要望は増えている。



(3) 外出について

問 18 あなたは、普段どのくらい外出しますか。

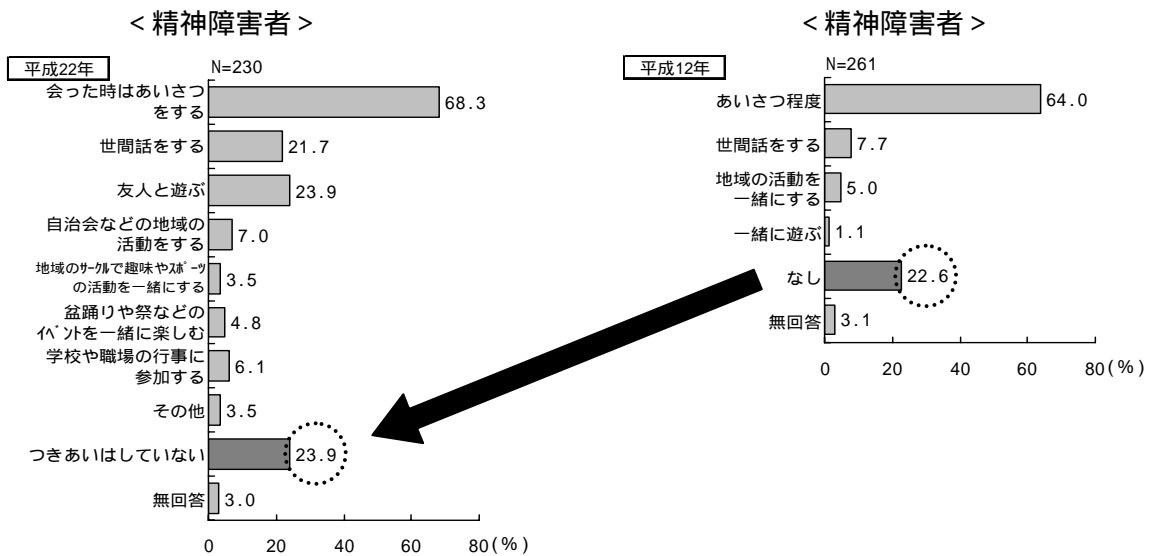
「ほとんど外出しない」が身体・知的障害者は 14.0%から 7.3%と半減しているが、精神障害者は 10.3%から 10.4%でほとんど変わっていない。



(4) 地域とのかかわりについて

問 20 あなたは、ふだん地域の人とどのようなおつきあいをしていますか。

精神障害者は、「つきあいはしていない」が 23.9%で、これは前回調査の 22.6%とほとんど変わっていない。



問 22 障害のある人に対する市民の理解についてどのように感じていますか。

選択肢が異なるので、一概に変わったとは言えないが、身体・知的障害者では「理解がある」は「理解がない」の 1.9 倍となっており、前回の 1.65 倍よりも改善している。一方、精神障害者では「理解がある」は「理解がない」の 0.44 倍となっており、前回の 0.59 倍よりも「理解がない」と感じている人が増えている。

